

広瀬・桃木川
が断水します
4月15日～20日
広瀬川の柳原発電所の下流
からと桃木川が、四月十五
日から四月二十日まで断水
します。下流のかたがたは
特に火災予防などに注意
ください。



開通近い 中央大橋

さちの池を眼下に

○市民のマスケット十五羽の白鳥が泳ぐ「さちの池」を眼下に、コバルト・ブルーにお化粧された橋桁が、利根川の水の色にマッチして、美しい曲線をえがく中央大橋。

○昭和四十四年着工、五年間をついに、四月中旬の開通をめざし、いま最終の仕上げ工事が急がれています。幅員二十メートル、片側二車線ずつ四車線で、橋の長さは大渡橋より六十四メートルも

長い五百八十九メートル。市内では最も長い橋です。

○総事業費は関連工事を含め約十八億円。利根川西にある一・二・三の三つの工業団地、問屋団地をはじめ、産業道路とも結ばれ、利根川によってへだてられていた市の西部と市の中心街を最短距離でつなぐ大動脈として、大きい使命を果たしてくれることでしょう。

前橋点景



(15)

白鳥あそぶさちの池を眼の下に、開通近い中央大橋(右上)。利根川西部と市内繁華街が最短距離で結ばれます。

春の全国交通安全運動

4月6日から10日間

「子どもと年よりの交通安全の確保」「飲酒運転等の追放」の二つを重点目標に、六日から十五日までの十日間、全国いっせいに春の交通安全運動が行なわれます。

この運動は、歩行者、運転者、運転者の雇主をはじめ、国民こぞって正しい交通ルールを実践、習慣づけ、交通安全思想をたかめ、事故防止の徹底をはかることが目的とされています。

本市でも、前橋警察署・各種団体・事業所などが中心となり、市役所前、前橋駅前、中央駅前などに交通指導所を設置、市民への交通指導相談に当たったり、空からの広報、交通安全パレード、巡回交通指導、移動街頭指導、街頭車検・排気ガス点検などが計画されています。また、小学生による交通安全手紙の配布、子ども交通安全教室、交通事故写真展なども実施され、市民ぐるみでの運動がたかまることが期待されています。みなさんのご協力をお願いいたします。

中小企業者に

機械の現物貸与

申し込み4月10日から

中小企業の設備近代化のため、三百万円以内の機械や装置を七月中旬以降に設置する市内で同一事業を三年以上継続している中小企業者に、機械類を貸付け譲渡します。貸付期間は昭和五十五年三月までの五年間、利率は年四・七パーセント。返済は機械価格の一五パーセントを契約納金として納め、以後一年据え置き半年賦均等償還。申し込みは四月十日から三十日まで、市役所工業課振興係(電話24局一一一内線三〇四)へ。連帯保証人など、くわしい問い合わせも同課へ。

3 月定例市議会——48 年度予算など 57 議案・報告 7 件を可決、承認

24 万市民の台所

●一般会計 134 億 3,073 万円 ●特別会計 97 億 4,583 万円 ●公営企業会計 30 億 7,251 万円

三月定例市議会は八日から二十六日まで、会期十九日間でひらかれました。この議会は、ひとくちに「予算議会」といわれているとおり、四十八年度の市政の方向をきめる一般会計予算と、これにともなう九つの特別会計予算を中心とし、一般議案五十七件、報告七件を上程、審議の結果、いずれも原案どおり可決承認されました。そこで、このページは、三月定例市議会の審議の中心となつた新年度予算についてお知らせし、この予算がどう使われるかについて、みなさんのご理解をいただきたいと思います。



3 月定例市議会本会議場

幅に増やす 前年比 55.7% 増



市長 石井 本年度予算編成の基本的な考え

年計画の第六次となることから、この実現をはかることを基本方針とし、今後の補正予算のために余裕をもった年間予算という考えのもとに、地方自治の基本である「市民福祉の向上」を基調として編成しました。

現在、いろいろな場面面で「流れを変える」とか「経済指向型から福祉指向型へ」とか、なかなかぎやかに論ぜられています。しかし本市では、すでに総合整備十か年計画にこの基本方針を確立し

ことしの予算編成の基本的な考え方

市長の予算説明から

これは市長が 3 月 8 日の市議会にわたつて 40 分間説明した一部要旨

本年度予算編成の基本的な考えは、この「総合整備十か年計画」の第六次となることから、この実現をはかることを基本方針とし、今後の補正予算のために余裕をもった年間予算という考えのもとに、地方自治の基本である「市民福祉の向上」を基調として編成しました。

国の予算編成と本市の考えかた

国は、ことしの予算編成にあたり、福祉優先をキャッチフレーズに十四兆二千八百億円という超大型予算を編成しています。その背景として、昭和四十八年度の経済見通しは、G・M・P の対前年度伸び率名目で一六・四パーセントと高めて高く見て、消費者物価も五・五パーセントの上昇を見込んで編成されたようであり、このような経済環境のもとでは、従来の「景気抑制型」に編成するのが常識です。すなわ

ち、従来の国の財政経済政策は、経済の安定成長を確保するため、景気が停滞する場合は「積極大型予算」を編成し、景気が過熱する場合は「引締め型予算」を編成することによって公共部門が民間部門に道を譲る型をとってきたのです。このような国の経済政策によって、わが国の企業はその体質を著しく強化してきました。こうして国際競争力を強くした結果、昭和四十六年度以降外貨が急増を続けてきました。一昨年円の為替ルートの引き上げが行なわれたにもかかわらず、最近の外貨保有高は、百七十八億ドルになり、去る二月には、変動相場移行を余儀なくされています。さらに最近では円の再切り上げがいろいろ議論されています。

このように、わが国の経済は、いちじるしい発展をとげ、国民所得も大幅に上昇しました。しかし数年にわたる民間設備投資優先の

4 8 年 度 予 算 額				
		(数字は 4 捨 5 入)		
会 計 別		48年度予算額	47年度当初予算額	伸び率%
一 般 会 計		134億3,073万円	108億9,374万円	23.3%増
特 別 会 計	国民健康保険	19億7,193万円	15億4,460万円	27.7%増
	食肉処理場	2,134万円	2,025万円	5.4%増
	中央児童遊園	2,515万円	1,978万円	27.2%増
	競 輪	70億2,424万円	59億9,790万円	17.1%増
	中小企業合理化資金貸付	2,497万円	2,625万円	4.9%減
	用 品 調 達	6億7,820万円	5億7,650万円	17.6%増
	小 計	97億4,583万円	81億8,528万円	19.1%増
公営企業会計	水 道 事 業	12億7,993万円	11億0,549万円	15.8%増
	下水道事業	15億1,700万円	12億7,300万円	19.2%増
	農業共済事業	2億7,558万円	2億2,654万円	21.7%増
	小 計	30億7,251万円	26億0,502万円	18.0%増
合 計		262億4,908万円	216億8,404万円	21.1%増

可決された議案

- ①昭和四十八年度前橋市一般会計予算②昭和四十八年度前橋市国民健康保険特別会計予算③昭和四十八年度前橋市食肉処理場特別会計予算④昭和四十八年度前橋市中央児童遊園特別会計予算⑤昭和四十八年度前橋市競輪特別会計予算⑥昭和四十八年度前橋市中小企業合理化資金貸付特別会計予算⑦昭和四十八年度前橋市用品調達特別会計予算⑧昭和四十八年度前橋市水道事業会計予算⑨昭和四十八年度前橋市下水道事業会計予算⑩昭和四十八年度前橋市農業共済事業会計予算⑪前橋市職員定数条例の改正⑫市職員の定数を改めたもの⑬前橋市特別職の職員で非常勤のもの報酬および費用弁償に関する条例の改正⑭防犯会議委員、民生委員推せん会委員、公害対策審議会委員の報酬の改正⑮前橋市一般職の職員の給与に関する条例の改正⑯初任給調整手当の支給限度額の改正⑰前橋市職員の特殊勤務手当に関する条例の改正⑱前橋市行政財産の用途または目的外使用に関する使用料条例の改正⑲前橋市公園内売店建物の使用料改正⑳前橋市庁舎建設基金条例の制定⑳前橋市庁舎建設のための資金を積立てるため、基金を設けたもの㉑前橋市災害遺児援助基金条例の制定⑳災害遺児に対し基金を設けその運用益金により援助したもの㉒前橋市市税条例の改正⑳市税、国民健康保険税の納期前納付報奨金交付率等の改正㉓前橋市納税貯蓄組合補助金交付条例の改正⑳納税貯蓄組合補助金交付基準の改正㉔前橋市老人福祉センター条例の改正⑳老人福祉センター利用のうち、七十歳以上の人の使用料を無料にしたもの㉕前橋市保育所条例の改正⑳市立保育所の移転および定員変更に伴うもの㉖前橋市児童遊園条例の改正⑳一部の遊具の使用料改正㉗前橋市厚生住宅に関する条例の改正⑳厚生住宅の建替えおよび廃止に伴うもの㉘前橋市営墓地条例の改正⑳前橋市営墓地の使用料および天川霊園、亀泉霊園の管理料の改正㉙前橋市市場条例の改正⑳前橋市中小企業機械賃貸付譲渡条例の改正⑳中小企業者の範囲を拡大したもの㉚前橋市食肉処理条例の改正⑳冷蔵庫使用料の改正㉛前橋市農業共済条例の改正⑳農業災害補償法および農業共済基金法の一部改正に伴い新しく果樹共済事業を行なうもの㉜前橋市営住宅管理条例の改正⑳公営住宅法施行令の改正に伴い入居者の収入基準の引き上げに関する改正㉝前橋公園条例の改正⑳前橋市公園の設置に伴うもの㉞前

市民福祉を重点に——民生予算を大

財政金融政策の結果、社会資本、とくに生活社会資本の立派なものは、いじりく、このため都市環境の悪化、住宅難、物価の異常な高騰等のひずみ、すなわち「成長と福祉のギャップ」を招いたのである。そこで、国はここの予算編成にあたり、従来の財政政策のバターンを転換し、景気が回復、経済が過熱気味であっても、財政のウエイトを下げることなく、むしろ積極的に社会資本の整備をはかりたいとしているのである。

総合整備計画実施六年目

「四本の柱」実現めざし編成

このように従来の基調を「成長追求型」から「成長活用型」に変え、資源配分の重点を民間部門から公共部門に移行しなければならぬ状況におちいりました。このため、余儀なく敵前旋回型をとり、余儀なく敵前旋回型をとったわけですが、この財政政策の基本無視の政策は、さらにインフレを助長し、水ぶくれ経済を招き逆福祉政策となることは、あきらかであるといえるでしょう。

総合福祉を基調に

これは、国が一昨年経済社会基本計画(昭和48~52年度)策定の準備作業をはじめたことにあたり、「国民所得で表示される経済活動規模の拡大を計画の目標とせ

議長佐藤、副議長亀井氏

各常任委員も決まる



議長 佐藤



副議長 亀井

改選後の市議会三月定例会は八日午後一時開会、会期を二十六日までの十日間と決めた。あつ、正副議長の選挙を行ない議長に佐藤幸雄氏、副議長に亀井邦夫氏を選任した。

佐藤氏は市議五期目、総務企画常任委員長、四十六歳。

亀井氏は市議二期目、新清会幹事長、五十三歳。

同日、各常任委員の所属委員の改選が行なわれ、それぞれ次のとおり決まりました。○印は委員長、▽印は副委員長。

○総務企画常任委員会 ○萩原弥惣治、▽鈴木康之。大島芳平、樋田道賢、塚田文雄、奈良政雄、都木喜祿、木村勇、長張知市郎。

○教育民生常任委員会 ○布施川忠之助、▽中沢実。早川昌枝、永井敬士、浅井直行、小野沢林作、浅野安夫、関口三代八、亀井邦夫、岡田豊喜。

○経済常任委員会 ○岡本義雄、▽富山弘毅。阿佐美昭一、船津孝。

都九俊己、内田光雄、小林三郎、中沢良一、鈴木長治、尾高英雄。

○建設水道常任委員会 ○狩野富美男、▽玉上文次郎。山本良平、窪田治好、村田長司、青木茂、富沢徳次郎、丸山貞吉、宮川健夫、萩原義正。

○前橋工業団地造成組合協議会議員 ○窪田治好、都九俊己、宮川健夫、岡田豊喜、都木喜祿。○公害対策審議会委員 ○浅井直行、樋田道賢、浅野安夫、内田光雄、小林三郎、宮川健夫、塚田文雄、長張知市郎。○伊勢崎社会福祉施設市町村協議会議員 ○布施川忠之助。

○農業委員会委員 ○船津孝、小野沢林作、中沢良一。○国民健康保

険道協賛協議会委員 ○早川昌枝、中沢良一、富沢徳次郎、関口三代八、鈴木長治。○農業共済事業運営協議会委員 ○永井敬士、阿佐美昭一、大島芳平、村田長司、尾高英雄。○公務災害補償認定委員会委員 ○浅野安夫。○都市計画審議会委員 ○永井敬士、窪田治好、青木茂、富沢徳次郎、丸山貞吉、宮川健夫、都木喜祿。○都市計画審議会臨時委員 ○山本良平、浅井直行、阿佐美昭一、小林三郎、中沢良一、尾高英雄。○広域市町村圏振興整備協議会議員 ○樋田道賢、村田長司、青木茂、都九俊己、内田光雄、関口三代八、萩原義正、鈴木長治、塚田文雄、鈴木康之、奈良政雄、長張知市郎。○固定資産評価審査委員会委員 ○新井己策。○監査委員 ○木村勇。

歳入の見通し

健全財政を堅持して

ことしの予算の歳入、つまり収入は、①市税(三七・三三三)②諸収入(一五・六六六)③国庫支出金(一四・一五五)④地方交付税(八・九三三)⑤市債(八三三)⑥繰入金(五・一四四)⑦県支出金(四・二三三)⑧使用料及び手数料(一・九四四)などの順となつていきます。

また、市税は前年の四十一億に對し、五十億(前年より二・一五割増)が見込まれます。ご承知のとおり、ことし国では所得税と地方税の減税措置がされる予定で、しかし、所得の伸びによる自然増、固定資産税の伸びを考えると、本市でも、さらに若干の追加が必要と見込まれます。ところで、地方公共団体の予算は、年間に補正予算のための追加財源として、これは留保することとしました。

地方交付税は十二億(四二・九割)増を計上、これは前年度の普通交付税決定額を参考に推定しました。

使用料および手数料は三億六千万(二二・八割増)が見込まれます。主なものは墓地管理料、墓地使用料、霊柩車使用料、市立女子高校授業料等です。とくに市立女子高校授業料は、現在まで七年間据え置きのため、若干の引き上げがされたわけですが、

寄付金は職員会館建設のため市職員共済会から八千万の寄付があったものが主なものですが、繰入金金は六億八千万(七・二割増)で、都市計画事業、区画整理事業からの土壌費繰入金と広瀬保育所新設・保育所改築事業に充たふ福祉施設建設基金からの繰り入れ金です。

諸収入は二十一億(二三・七割増)で、商業設備近代化貸付金の元利収入一億五千七百万、中小企業振興資金等元利収入三億五千万、競輪事業収入十二億三千万、首都圏都市開発区域整備費の特別補助一億七千二百万円などです。

市債は十億七千四百万円(四四・八割増)で、各種事業を実施する必要財源となります。

特別会計予算・公営企業会計予算の歳入、歳出のあらましは、11・12・13ページに掲載しましたので省略いたします。

予算説明を掲載

次のページから

橋市立学校授業料等徴収条例の改正について(授業料、入学検査手数料および入学金の改正) ③前橋市公民館条例の改正について(下川湖公民館の新築および公民館利用に關する条例の改正) ④前橋市公民館利用の新築に伴うもの ⑤前橋市立工業短期大学の職員で非常勤のもの報酬および費用弁償に關する条例の改正について(非常勤職員の報酬額の改正) ⑥市の区域内の町および字区域の変更について(国土調査法による地籍調査に伴うもの) ⑦市の区域内の町および字区域の変更ならびに同区域内の字の廃止について(前橋市土地改良区による土地改良事業施行に伴うもの) ⑧市の区域内の町および字区域の変更ならびに同区域内の字の廃止について(前橋市土地改良区による土地改良事業施行に伴うもの) ⑨前橋市土地改良事業施行に伴うもの ⑩前橋市土地改良事業施行に伴うもの ⑪前橋市土地改良事業施行に伴うもの ⑫前橋市土地改良事業施行に伴うもの ⑬前橋市土地改良事業施行に伴うもの ⑭前橋市土地改良事業施行に伴うもの ⑮前橋市土地改良事業施行に伴うもの ⑯前橋市土地改良事業施行に伴うもの ⑰前橋市土地改良事業施行に伴うもの ⑱前橋市土地改良事業施行に伴うもの ⑲前橋市土地改良事業施行に伴うもの ⑳前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㉑前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㉒前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㉓前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㉔前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㉕前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㉖前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㉗前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㉘前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㉙前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㉚前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㉛前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㉜前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㉝前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㉞前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㉟前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㊱前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㊲前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㊳前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㊴前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㊵前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㊶前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㊷前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㊸前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㊹前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㊺前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㊻前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㊼前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㊽前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㊾前橋市土地改良事業施行に伴うもの ㊿前橋市土地改良事業施行に伴うもの

報告事項

24万市民の台所

ことしの、市の予算を以下
10 ページにわたってお知らせ

します。みなさんからの税金、国や県からの支出金、使用料や手数料、
財産収入、諸収入などで得た財源を、みなさんのためになるしごと
に使うため、いろいろと考えながら配分して、この予算は組まれてい
ます。下の欄は、前橋の総合整備計画を、市のビジョンとして要約し
たものです。すでに、広報紙上で何回か紹介していますが、ことしの予
算に、これがどう生かされているか、見くらべながらお読みください。

●一般会計予算説明——10 ページまで

交通・公害対策に努力

ガードレール3、500メートル カーフミラー100基
道路標示線30,000メートル 騒音計購入など

新庁舎建設調査費も計上

交通対策は、国・県・都市を問
わず、国民全体のきわめて重要な
問題です。市では交通安全保持を
中心に、毎年各種の対策を講じて
きていますが、本年はとくにこの
交通安全事業に三千二百七十万円
を計上しました。ガードレールを
千メートルから三千五百メートル
に、カーブミラーも六十基から百
基に、道路標示線も二万メートル
を三万メートルに増やします。こ
のほか歩道設置に二百三十万円、
不幸にして事故にあった人たちの
ための交通災害共済事業に二百四
十五万円を負担します。

公害対策も、市民の住みよい環
境を保持するための重点施策の一
とつです。二百三十五万円で公害
測定機器(デジタル騒音計)を購
入するほか、(ヘイ)獣処理施設や市
内中小企業の公害防止施設整備資
金借り入れの利子補給などが組み



交通事故のないまちには市民みんなの願いです。
(商工会議所坂下で)

総務費 15 億 3,350 万円

- 厚生事業の一環として職員会館を
建設、保健保養施設の整備をはか
ります。
- 総務費の主なものは次の通り。
- ▽職員研修事業 六二二万円
 - ▽市史編さん事業一、六六七万円
 - ▽広報発行事業一、七四九万円
 - ▽福祉施設建設基金積立金(競輪
事業収益金積立、前年同額)
一億〇、〇〇〇万円
 - ▽庁舎冷房設備 三、一一四万円
 - ▽広域行政推進事業 一八三万円
 - ▽公害対策事業 九六四万円
 - ▽交通安全事業 三、二七〇万円
 - ▽行政連絡委託料三、七四九万円
 - ▽防犯街灯新設維持費七、一六万円
 - ▽町内集会所建設補助金
一、八〇〇万円
 - ▽県民会館建設費負担金
六、一八六万円
 - ▽郵政福祉会館建設費補助金
一、〇〇〇万円
 - ▽済生会前橋病院移転に伴う建設
一部補助金 六、〇〇〇万円
 - ▽日赤看護婦宿舍改築費補助金
(継続) 一、〇〇〇万円
 - ▽職員会館建設費(新規)
一億七、八五〇万円
 - ▽市庁舎建設のための設計・地盤
調査委託料 一、九〇〇万円
 - ▽市税賦課費 三、〇三八万円
 - ▽市税徴収費 五、七八四万円
 - ▽住民実態調査費 三、二四四万円
 - ▽選挙費 六、七四四万円
 - ▽各種指定統計調査 五、八四四万円
 - ▽監査委員費 一、五七三万円

議会費

一億三、八〇九万円

- ▽議員報酬等 九、四八三万円
- ▽議員海外視察費 二〇〇万円
- ▽議会運営費 一、四二〇万円

東北部に分署

西部に救急隊創設

消防費三億七、七九三万円

頻発する火災から市民のみなさ
んを守るため、消防力の強化をは
かります。とくに、初期消火を重
点に、常備消防体制を充実するた
め、東北部地区に消防出張所を新
設します。さらに西部に救急隊一
隊を創設します。

消防車は四台買い替え、貯水槽
十一、消火栓新設六十基をつくり
ます。

新前橋駅近郊での消防隊 車輛火災訓練



主な予算額は次のとおり。

- ▽救急対策事業補助金四〇〇万円
- ▽消防団員報酬(二十一人分) 八九七万円
- ▽消防団運営交付金 三〇〇万円
- ▽消防ポンプ自動車買い替え(四
台) 一、四〇〇万円
- ▽消防用器具類購入(ホース等)
五四〇万円
- ▽貯水槽建設工事費 五九一万円
- ▽消火栓新設工事 六六〇万円
- ▽消火栓維持管理 一六〇万円
- ▽消防出張所新設三、八三七万円
- ▽救急業務増強費 九三二万円

10年間の 前橋のビジョン 《総合整備計画》

昭和四十三年度から五十二年
の、十年間の前橋のビジョンを定めた
「前橋市総合整備計画」が実施されて
からとして五年を経過しました。い
よいよ本年から後半の五年にはいりま
す。すでに二回にわたり、ビジョンの
実施状況の「中間報告」を広報紙上で
市民のみなさんにお知らせしてきま
したが、昭和四十八年度の予算状況の公
表にあたり、もう一度、この理想像を
ふりかえってみたいと思います。

市民みなさんが望む前橋は、これからど
うかたちづくられていくか、その青
真をこらいたしながら、新年度予算
と見くらべてください。

このビジョンの 基本目標

都市は市民の創造する芸
術である——とは、石井市
長がよくいうことばです。

市では、これからの前橋の
すむべき道として、秩序ある都市づくり、調和のとれた産業
の振興、しあわせな暮らしづくり、健全な人づくり、の四つの柱
を骨子として「市民全体のしあわせを高める」ことに力をつ
けています。

このため、昭和三十三年から四十二年までの十年間にわた
り、第一次の長期総合計画である「新市建設計画」を策定、実
施し、この目標達成の第一歩を踏み出しました。市民のみなさん
のご支援で、この計画は順調にすすめられ、一三六パーセント
の実施率という成果をおさめました。

現在、わが国は地域社会の未曾有の変革期にあるといわれま
す。そこには、かつて経験したことのない、新しい地域構造へ
の展開が期待されます。地域の発展と市民生活の向上をにな
う市の使命は、いよいよ重大であり、ここに長期展望に立った市
政の重点施策を体系化し、そのビジョンを定めることは、きわ
めて重要なことと考えられたわけです。

このビジョン(総合整備計画)が達成された時の市民生活の
姿を想像するとき、そこには「しあわせ多い前橋」「拠点都市
前橋」の大きな希望と期待が実現されます。

この計画遂行の過程では、多くの困難な事態の発生が予測さ
れます。これを克服しながら前半の五年を経過したわけでは
すが、市ではこれからの後半の五年を、さらに全力をあげて
目標達成に努力する考えです。市民のみなさんのご支援をおね
がいたします。

若さあふれる成人都市

推定人口30万人に

市の人口は、二月末現在で二十四万二千人、明治二十五年市
制が施行された当時の三万二千人から比べると、この八十一
年間に七・六倍の人口となりました。市の面積も七次にわたる
隣接町村の編入によって、市制施行当時の十九倍、一四七・三
九平方キロメートルに達しています。

さて、前橋市の将来の人口は合併等による市域の拡大を予測
しない現在のままの市域で、この総合整備計画終了の昭和五十
二年度末には三十万八千人と推定されます。現在、全国的に人
口の老齢化が問題になっていますが、本市では老齢化のペース
はゆるく、三十四歳以下の人口が総人口の過半数を占める星型

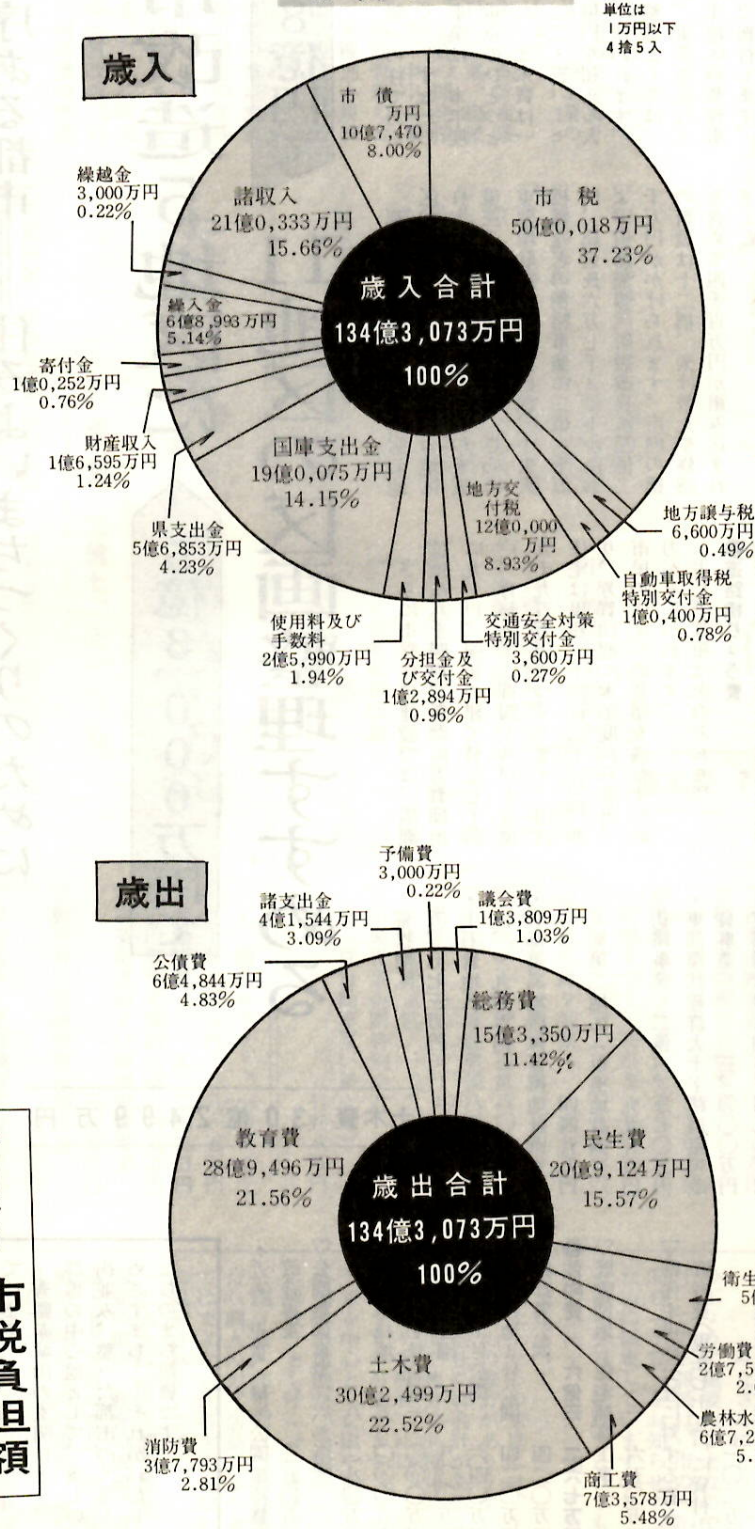
一般会計予算

134億3,072万9千円

(おぼえやすい読みかた)

人みな幸せみんなの福祉

予算分類図

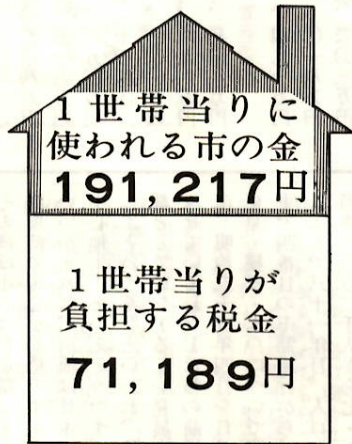


一般会計予算性質別分類

人件費	28億7,302万円(21.4%)
物件費	7億9,562万円(5.9%)
維持補修費	1億1,060万円(0.8%)
扶助費	14億5,502万円(10.8%)
補助費等	11億2,771万円(8.4%)
公債費	6億4,807万円(4.8%)
積立金	1億0,300万円(0.8%)
投資及び出資金	1億0,229万円(0.8%)
貸付金	1億9,881万円(1.5%)
繰出金	5,259万円(0.4%)
投資的経費	59億3,400万円(44.2%)
①普通建設事業	57億5,122万円
②災害復旧事業費	0万円
③失業対策事業費	1億8,278万円
予備費	3,000万円(0.22%)
合計	134億3,073万円(100%)

一般会計予算財源状況

●一般財源	74億5,563万円(55.51%)
市税	47億3,770万円
地方交付税	12億0,000万円
使用料及び手数料	2,455万円
財産収入	3,980万円
繰入金	0万円
繰越金	3,000万円
諸収入	14億2,358万円
●特定財源	59億7,510万円(44.49%)
市税(都市計画税)	2億6,248万円
地方譲与税	6,600万円
自動車取得税交付金	1億0,400万円
交通安全対策特別交付金	3,600万円
分担金及び負担金	1億2,894万円
使用料及び手数料	2億3,535万円
国庫支出金	19億0,075万円
県支出金	5億6,853万円
財産収入	1億2,615万円
寄附金	1億0,252万円
繰入金	6億8,993万円
諸収入	6億7,976万円
市債	10億7,470万円
●合計	134億3,073万円(100%)



市民の市税負担額

《一般会計》

前橋のビジョン

の人口ピラミッドを示すものと予想されます。
これは、東京などの大都市地域内の人口分散化と、戦後のベビーブームの影響ともみられますが、本市はいわゆる成人層とこどもの多い都市、つまり「若さあふれる成人都市」というのが、これからの前橋の姿となりそうです。

30万拠点都市めざす
市街立体化の方向に

昭和二十年八月の戦災で、本市は市街地の八割を焼失しました。しかし、市民の努力で復興は急速に進み、加えて首都圏の開発拠点都市のひとつとして指定されたことも相まって、近代都市づくりへ急テンポで整備の歩がすすめられてきました。ところで、最近の全国的な勢として、各都市とも市街化の進行はきわめて急激で、今後もこの勢いは一段と加速される傾向です。
さらに、これらの市街地の拡大は、単に平面的な方向にとどまらないで、業務地、住宅地等の高層化や、これに伴う公共空間の拡大など、立体的な方向に拡大されることは明らかです。

市街化区域と調整区域を区分

土地利用計画では、都市計画法にもとづき、前橋市全域を市街化区域と調整区域に区分します。これは、すでに四十六年三月に、市の都市計画審議会の答申を経て、この区域区分の「線引き」が県から告示され、決定しました。この結果、約四千ヘクタールが市街化区域となり、秩序ある都市形態の核となる基盤づくりがすすめられています。

このビジョンの最終的な目標としては、市街化区域は約五千三百二十ヘクタールで、この区域では、一ヘクタール当たり六十人の人口密度とし、ここに二十七万人の人たちが住むことになりそうです。
残りのおよそ九千四百ヘクタールを市街化調整区域に指定し、ここに三万八千人が住みます。こうして、五十二年度末までには、市内に三十万八千人の人たちが住むことが予想されるわけです。

これら市街化区域と調整区域に区分された市域を、さらに工業地域、準工業地域住宅地域など用途別に指定し「秩序ある都市づくり」が積極的にすすめられます。

都市計画街路60路線を整備—立体交差5か所に

新しい都市づくりのための重要施策のひとつとして、道路整備は不可欠のものです。
市には現在、関東高速道、上武国道など重要連絡幹線道路と上越新幹線などの高速鉄道の主要構想があります。すでに、路線決定など、具体的な建設段階を迎えています。いずれにしろ本市は太平洋側と日本海側を結ぶ交通・経済交流の「拠点都市」としての性格が、いよいよ明確化されてきています。
これらの主要路線と関連して都市計画街路は六十路線、百四十二キロメートルに伸び、市内を縦横に走るようになります。
このうち、三十二路線はすでに完了、現在この基本計画にもとづいて整備中の八路線に加えて二十六路線の改良と舗装整備が行なわれます。

また、上越線、両毛線、上毛電鉄と、立体交差は五か所につくられることになります。すでに、高前バイパス陸橋、総社陸橋ができ、ことし二月には東部バイパス陸橋が開通しています。

利根川に四つの橋

すでに昭和四十六年に中央大橋は完成に
市内を東西に二分して流れる利根川には、四つの橋が計画されています。
(次のページへつづく)



秩序ある都市づくりをめざして一面目一新の県庁前道路

秩序ある都市——住みよいまちづくりのために

都市改造5地区に

8億円で

11地区の区画整理すすめる

5億3,000万円で

土木費 30 億 2,499 万円

市のビジョンの第一の柱である「秩序ある都市づくり」すなわち都市の近代的整備事業は、本年度の予算編成でも、重点のひとつとして考慮されました。土木費は一般会計予算総額の二・五パーセントを占め、三十億円を超える大きな額がこの事業に使われます。まず、市街地の整備としては、前年度に引き続き、東部地区など十一地区におよぶ土地区画整理事業を八億一千万円で施行します。

都市改造事業は、新前橋駅前地区、下石倉地区、前橋駅南口地区、日吉町地区、二地区の五つを五億三千万円で実施します。さらに東部環状線、南部大橋線、中央大橋線などの街路事業に二億六千万円、総延長六万七千メートルにおよぶ道路舗装、新設改良に三億二千万円がかけられます。市内の橋の新設は十二橋、架け替えや修繕を含めて四千百万円が組み込まれました。

さらに市営住宅建設では、広瀬団地に八十四戸、新たに芳賀団地に九十戸、国領の建て替え七十四戸、合わせて二百四十八戸を五億五千九百万円でつくります。市営住宅は現在二千四百二十八戸あり、芳賀団地に本年度から進出、市民の住宅への要望を満たすために予算額は次のとおり。

●道路橋りょう費
六億一、五三六万円
▽道路改良および水路改良事業 一億四、五九三万円
▽道路新設改良事業(新設・舗装・拡幅工事) 三億二、一五〇万円
▽橋りょう改良修繕 八〇〇万円
▽橋りょう新設事業(市施工十橋、県施工二橋) 三、三五九万円
▽増田土地改良補助金五八九万円
▽亀泉土地改良補助金三六八万円
▽南部土地改良補助金六五四万円

市営住宅248戸つくる

公園・緑地整備6か所

都市環境をよくする公園・緑地の整備事業には一億一千二百万円が計上され、継続事業として利根

川緑地の整備はかき五か所、延べ三・〇四ヘクタールにおよぶ公園の整備がはかられます。

●都市計画費
一七億七、六九六万円
▽都市改造事業(五地区) 五億三、一六〇万円
・新前橋駅前地区 一億三、〇六九万円
・下石倉地区 六、六九八万円
・前橋駅南口地区 二億二、五二八万円
・日吉町地区 九、五一五万円
・二地区 一、三五〇万円
▽土地区画整理事業(十一地区) 八億一、〇〇〇万円
・東部地区 五、六九六万円
・西部第一地区 五、七〇八万円
・西部第二地区 一億一、四九一万円
・川原第二地区 二、〇一八万円
・広瀬地区 四、二〇三万円
・北部地区 三億一、一九一万円
・大友地区 七、二八二万円

●公園整備事業(六か所) 三、五〇〇万円
・利根川緑地 八、二八〇万円
・元総社2号公園 一、〇〇〇万円
・新東橋公園 八〇〇万円
・荒牧町1号公園 六四〇万円
・広瀬団地3号公園 四二〇万円
・県庁裏公園 四二〇万円
●住宅費 六億三、二六七万円
▽既設団地、住宅修繕工事 一、六五〇万円
▽県住宅供給公社に対する資金融資事業(現在七十五戸に貸付中) 一〇二万円
▽市営住宅建設事業(二百四十八戸) 五億五、九一四万円
・住宅新築工事(広瀬団地八十四戸、芳賀団地九十戸) 三億一、九六〇万円
・住宅建て替え工事(国領団地七十四戸) 一億五、七二二万円
・住宅建設用地購入(広瀬・芳賀) 六、三七一万円
▽建築基準法施行業務 二、四一五万円

まえばし

日本地図を四つにたたむとそのほぼ中心は群馬県。その群馬県の中心が前橋です。いいかえれば、前橋は日本の中心地——といえそうです。「水と詩の都」といわれ、県都としていちじるしい発展をみせているわたしたちの前橋市。明治二十五年四月一日、東京・横浜・水戸について関東で四番目の市制施行から、ことしで八十一周年。人口は当時の三万二千人から七・五倍の二十四万二千人、市域も七次にわたる隣接町村の編入によって当時の十九倍の一四七・三九平方メートルに達しています。

秀麗赤城山の玄関口とし、群馬の中心地として、美しい街並み、整った都市づくりをめざすまち——それがわたしたちのまち前橋です。

前橋のビジョン

（前ページからつづ） 公田町と高崎市萩原をつなぐ昭和大桥、南部大橋線にかけられる南部大橋、江田川天川線をつなぐ利根大橋、東照宮東国分線をつなぐ中央大橋がそれぞれです。すでに、昨年十月には総工費五億八千九百万円で長さ二百五メートルの昭和大桥が完成、さらに、ことし四月には五年の歳月をついやし、五百八十九メートルの中央大橋が、総工費十八億円で完成、前橋西部と市街地を最短距離で結ぶ近代橋として登場します。

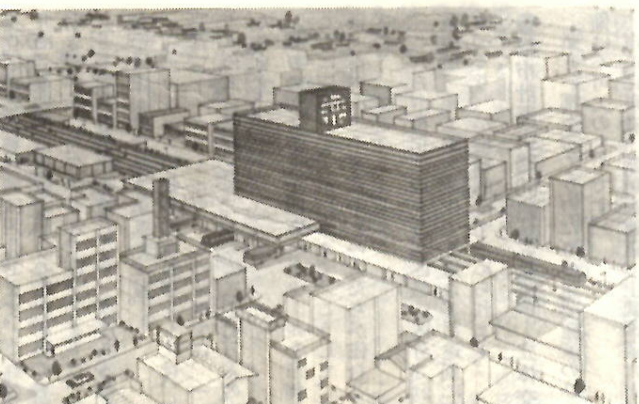
——車はますます増加し、とくに乗用車は急速な普及が予想されてきました。現実にも、市内の車は、加速度的に増えてきています。道路整備はもとより、交通安全対策の推進、駐車場の整備が重要とされています。

●国鉄前橋駅中心にバスターミナル

民衆ビル、私鉄の国鉄への乗り入れ、産業鉄道の建設のほか、民間五社(東武、群バス、中央、上信、上電)を中心とするバスターミナルが国鉄前橋駅前を中心にでき、赤城や周辺の観光地へ直通バスで待たずに乗れることになるでしょう。

また、利根川付近には、ヘリポートができ、空の交通も実現するでしょう。家族連れで空からお買いものに——というのも夢ではなくなるでしょう。

全面舗装をされたハイウェイが赤城山を走り、わずかの時間で赤城へのドライブが楽しめることになるでしょう。



前橋駅付近予想図

●公園緑地125か所ふやす

「森と水の都・前橋」のイメージをたいせつに保ちながら、さらに市民のいこいの場所をふやしていきます。公園緑地は、積極的にふやします。

前橋公園、敷島公園の整備、城南地区の二子山古墳や五料沼を利用した自然公園、橋山自然こども園、学習と交通ルールを遊びながら学ぶこども公園など、百二十五か所の公園整備と開発をはかります。

こどもたちのためには、中央児童遊園の整備、遊びながら学べる電気・機械公園もつくられるでしょう。

さらに、市民の娯楽観光開発を兼ねた総合レジャースセンターとして「前橋遊園地」が赤城南面にでき、南面から山頂へのゴンドラ、地形をアレンジした夢の園なども、このビジョン実現の青写真のなかにえがかれていきます。

●利根川には水上公園、桃木川畔にサイクリングロード
レジャー時代を迎えて、これからますます観光の役割は重要となります。

中小企業振興のため 各種資金を融資

産業道路整備に二千二百万円

商工費 7 億 3,578 万円

ビジョンの二本目の柱となつて
いる「調和のとれた産業の形成」
をすすめるため、まず、商工業の
推進に力がおこされ、
工業部門では、本市の基幹産業
である木工業、食料品工業、機械
金属工業を中心に、工業の開発振
興をはかり、一方、中小企業
の体質改善のため、経営管理の合
理化と技術の向上、業種別小規模
工業団地への集約化、共同化、協
業化をすすめます。

- ▽中小企業振興団体事業補助 四〇〇万円
- ▽製造業振興対策事業一九一万円
- ▽生鮮食料品総合卸売市場利子補給 一、五二二万円
- ▽生鮮食料品総合卸売市場運営促進事業 一五〇万円
- ▽金融対策事業 五億七、〇〇〇万円
- ・商業設備近代化資金貸付金 一億五、五〇〇万円
- ・小口資金融資保険料補助 五〇〇万円
- ・小口資金融資補填金三〇〇万円
- ・信用保証協会出金 七〇〇万円
- ・中小企業振興資金融資預託金 五、〇〇〇万円
- ・中小企業融資預託金 三億〇、〇〇〇万円
- ・中小企業機械貸付 七五八万円

失業対策に一億八千万円

労働費 二億七、五一〇万円

商業振興も、本年度の重点施策
のひとつですが、都市開発の進展
とモータリゼーション時代の到
来によって、本市の商圏はますます
広がられています。これに対処
するため、商店街の体質改善、商
店経営の合理化、共同事業の推進
がはかられます。

- 失業対策、労働事業を中心に施
策をすすめます。失業対策費は、
就労者賃金、補償工事用原材料な
ど一億八千二百七十八万円が組ま
れました。
- 労働対策では、職業指導や雇用
対策、勤労者住宅建設資金の融資
中小企業労働福祉施設資金の融資
などがはかられます。
- さらに、新規事業として産業界
スポーツセンター整備、労働者信
用基金出金などが計上されて
います。
- 失業対策費一億八、二七八万円
- ▽失業対策就労者への賃金 四、〇八六万円
- ▽同、就労者夏季・年末報償金 二、三六二万円
- ▽失業事業補償工事用原材料 三、七五二万円
- ▽産業界スポーツセンター施設の
整備(新規) 二、三三〇万円
- ▽勤労青少年ホーム管理委託 四九〇万円
- ▽失対事業用、モータリゼンダ 七、〇〇〇万円
- ▽失対事業用、モータリゼンダ 七、〇〇〇万円

ここの予算によせる わたしの一言



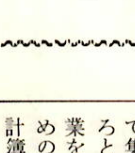
子どもの遊び場を多く
三河町一丁目・木暮牧子
予算は、いろいろ考えて配分さ
れているのですが、母親のひ
ととして、もっとも、遊園地がほ
しいと思います。学
校の庭やお寺のあ
き地では、かわいそ
う。遊具もそろって



自由な遊び場を多く
三河町一丁目・木暮牧子
予算は、いろいろ考えて配分さ
れているのですが、母親のひ
ととして、もっとも、遊園地がほ
しいと思います。学
校の庭やお寺のあ
き地では、かわいそ
う。遊具もそろって



使い方が問題
表町二丁目
小暮 三男
立派な予算を組
んでも、その生かした使いかたが
問題だ。市民のために――



千代田町二丁目 茂木康義
商店街アーケード建設に助成金
を。火災に対処
する鉄筋建物へ
近代化設備資金
の増額を望む。
まだまだ低い。
(商業・47歳)

財政・予算ということば

ご家庭の
家計簿と同じ

わたしたちは、日
ごろ「財政」や「予
算」ということばを
しばしば目や耳にし
ます。何となく、と
つぎにいくことの
ように思われがちで
すが、これは市民の
みなさんにとって、
ひじょうに重要なことなので
す。この広報紙は、市の一年
間の「予算」をお知らせする
ために編集していますので、
この「予算・財政」というも
のの意味を、まず、知ってお
きましょう。

わたしたちの家庭には、生
活のための家計があります。
また、会社には会計があるよ
うに、国や地方公共団体(都
道府県や市町村)には、予算
というものがあります。この
予算を中心とした国や地方公
共団体の活動を、一般的には
「財政」とも呼んでいます。

国・県・市町村は、わた
したち個人の力、活動にまかせ
てはできない仕事をするため
に組織されています。
たとえば台風災害の復旧、
治安の維持、教育の振興、道
路・上下水道の普及、社会保
障の充実などの仕事があり、その
目的です。

もちろん、これらの仕事は
国や県・市町村とが、それぞれ
決められた分担によって行
ないますが、このような公共
的な仕事をこなすためには、
たくさんのお金が必要になります。
このお金は、国の場合は国
民から税金を納めてもらった
り、タバコや酒の専売益金や
国債を発行したりして集めま
す。市の場合は、みなさんか
らの税金が主体となり、国か
らの支出金、使用料や手数料
財産収入、諸収入などによっ
て財源を得ています。

このように国や地方公共団
体が、一方で費用を払い、他
方でその財源を集める仕事を
「財政」といっています。
さらに「予算」は、こうし
て集められたお金を、いろい
ろと考えるが分配し、各事
業を有効に実施していくた
めのしくみで、各家庭の「家
計簿」と同じような意味で、
たいせつなことです。

前橋のビジョン

そこで、将来は上武広域都市の玄関口となることから、城南
地区は五料沼周辺の風光明媚な地形を生かし、観光開発を計画
しています。ゴルフ場やホテルなども市内に生まれてくるでし
ょう。

利根川には、前橋公園から敷島公園に連なる水上公園がつく
られ、浮き島には、シカ、野ウサギ、野鳥などが放し飼いにされ
て、文字どおり自然動物園が誕生するのも夢ではなくなるでし
ょう。

こどもたちのキャンプ場、サイクリング道路も計画されてい
ます。すでに、赤城に青少年キャンプ場を設けたり、桃木川畔
にサイクリングロードが完成しているのも、そのひとつです。

●赤城南面に墓地公園
赤城南面の景勝地、嶺地区に八十三ヘクタールの墓地公園が
計画されます。家族づれで、お墓へピクニックという姿もみら
れるでしょう。

これは市街地の寺院墓地の移転や市民の新たな墓地需要に応
えることによって、土地利用、都市環境上からの効果を期待する
もので、土地整理事業と関連してすすめられるものです。

●住宅用地を再開発―住宅三万九千戸つくる
市民がよい環境のもとで、明るく気持よく生活できるための
住宅建設も、このビジョンの重要な目標のひとつにあげられてい
ます。このための住宅用地の開発は、このビジョンのなかで一
万七千戸の新規宅地が必要と推定されています。

既存宅地の再開発では二万二千戸、合わせて三万九千戸が計
画されます。

●公害問題に対処―公害交通課を新設
前橋市では他都市にくらべ、公害問題はそれほど深刻な都市
問題となっていない。しかし、産業の発展、市民生活の高度
化、自動車の急速な普及、農村地域の市街化現象などが進むに
つれ、局所的な公害の発生は多くなることであろう。

現在、市民の苦情のうち騒音による被害が最も多く、悪臭な
ども表面化しています。こうした被害住民の立場から、都市計
画上の検討等をふくめて、積極処理にあたるため、公害交通課
を新設することになっています。

すでに、四十五年十月、公害交通課を新設、処理に当たって
います。

●消防救急体制を整備―分署をつくる
将来の市街地の拡大、人口の増加などを考慮し、一署一分署
のほかに、市西部、北部の市街地外かくに分署を設け、これに
消防車と要員を配置します。また、消防水利の拡充をすすめる
とともに、とくに建築物の高層化に対処するため、人身救出を
中心の三十三メートル級のハシゴ車を整備します。また、年々
増加する救急要請に対処救急車を更新し、迅速、適切な救急体
制の整備をはかります。市街地外かくに三つの分署を新設する
計画は、すでに東分署と西分署が完成、消防体制の強化が着々
とはかれています。

●横断歩道橋は33か所に新設します
このビジョンを策定した時点の昭和四十二年度中の前橋署管
内の交通事故は二千件で、前年より四百九十件の増加です。十
年前の昭和三十三年とくらべると八・四倍となり、千七百人が
負傷、三十六人の尊い人命が失われています。交通事故を防
ぐためには、いろいろな方策が考えられていますが、何といっ
ても運転者、歩行者を問わず、市民全体の協力が必要です。交
通対策のうち、とくに交通安全施設として横断歩道橋三十三か
所、防護柵一万六千六百メートルを新設、信号機を整備しま

新しい農業をすすめる ほ 圃場整備 4 地区で

木瀬・永明地区に 土地基盤整備事業



「農業の振興」も、重要部門のひとつとされます。都市化の波のなかで、近郊農業をいかにすすめていくか、転換期にある農政の問題にどう対処していくか、なかなかむずかしい問題が山積しているのが現状です。

こうした現状を踏まえながら、市では将来とも農業地域として発展させべき地域を定め、農業構造改善事業、圃(ほ)場整備事業を中心に事業をすすめます。

木瀬地区の土地基盤整備を継続実施し、新たに永明地区を加え、モデル農業団地も一地区に施工、これらの農業構造改善事業に二億二千三百万円が計上されました。

ほ場整備事業は、南部地区、富田東地区、増田地区、亀泉地区に土地改良を実施します。

さらに、農業生産合理化対策、病害虫防除、花き・野菜園芸対策、アミヒト防除、家畜・種付の貸し付けなども行なわれます。

主な予算額は次のとおりです。

- 農業費 六億七、二二二万円
- ▽農業委員会運営一、四六一万円
- ▽米生産調整対策事業一八三万円
- ▽農業近代化資金等利子補給 三、六四三万円
- ▽農業構造改善対策事業 二億二、二九七万円



農林水産業費 6 億 7,294 万円

- 土地基盤整備事業費補助金 六、八三七万円
- ▽農業近代化施設整備事業費補助金 一、六一九万円
- モデル農業団地整備事業費補助金 一億一、四八〇万円
- ▽農協組織強化事業 七四五万円
- ▽生産合理化対策事業(麦作団地育成対策事業含む) 九四二万円
- ▽植物病害虫防除事業四六六万円
- ▽花き園芸振興事業 二九四万円
- ▽野菜園芸振興一、一二五万円
- 林業費 六、一六二万円
- ▽農道整備事業 二、一四四万円
- ▽農業用水路危険防止対策事業 三〇三万円
- ▽農業土木事業 一、九六三万円
- ▽小規模土地改良一、〇六五万円
- ▽地籍調査事業 三九〇万円
- 林業費 六、一六二万円

子どもとしよりの福祉に

キメ細かい施策



- ・敬老年金支給 70 歳以上医療費無料化
- ・老人家庭奉仕員派遣 65 歳以上介護老人ふとん乾燥サービス
- ・乳児医療費無料化
- ・児童手当支給範囲ひろげる

総合整備計画の大きなビジョンである「市民の暮らしづくり」つまり、市民福祉の向上には、最も力がそそがれています。

民生予算は前年より五五・七バ

ーセント増で、本年度予算の最も重点とされています。

まず、社会福祉対策として、生活保護法にもとづく保護事業には五億五千四百五十万円が計上され

ました。

おとしよりのための対策としては、国・県の施策によらない市の単独事業として七十五歳以上に敬老年金を支給、六十五歳以上のね

民生費 二〇億九、一二四万円

たきり老人と、七十歳以上のおとしより全員の医療費を無料化し、このふたつの事業に三億五千九百八十七万円が支出されます。

さらに、六十五歳以上のねたきり老人に年三千円の見舞金の支給、老人白内障手術費の支給、老人家庭奉仕員の派遣なども行なわれます。また、二百三十六におよぶ老人クラブの育成、老人福祉センターの委託をはじめ、新規事業として、おとしよりが汽車に乗って楽しく旅行する市民敬老号への助成や、七十歳以上の老人福祉センター使用料の無料化、六十五歳以上で日常生活に介護を必要とするおとしよりのふとん乾燥サービス、ひとり暮らしの老人保養費の補助など、きめ細かい施策が組み込ま

保育所新築 2 か所に

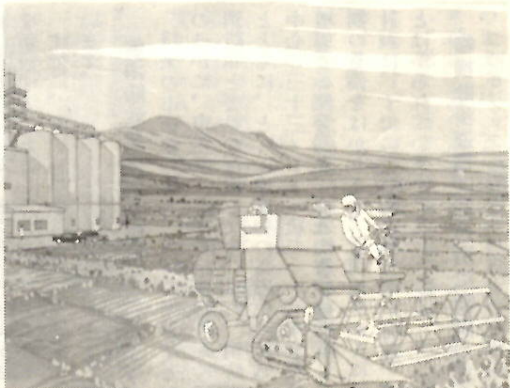
婦人児童福祉対策では、児童措置・家庭児童相談をすすめる、継続事業として乳児医療の無料化をはかるほか、児童手当の支給対象範

囲を拡大し、心身障害者の福祉対策では、本年度から新しく生活指導と職業訓練の実施等を通じ、社会復帰の促進をはかることを目的に、社会福祉法人あそか会が四十八年度に建設する精神薄弱者授産施設、心身障害児母子通園教室の建設を補助します。

前橋のビジョン

す。また、交通指導員制度の拡充、交通遺児救済制度を創設します。さらに、不幸にして交通事故の被害者となった人々に対しては救急医療センターを建設、救急医療に努めるとともに、交通災害共済制度の積極的な運用をはかります。これらの目標は、すでにこの五年間で、殆んど実現されています。

産業の振興はかる



農地にはコンバインが活躍、後方はライセンセンター。

●農業の根本的転換期—四つの事業区

都市化のなかの農業施策—これは、非常にむずかしい要素を含んでいます。都市近郊地帯では、園芸や畜産部門が伸びてはいるものの、都市化、工業化によって農業人口の流出は激しくなっています。とくに青年層にこの傾向がつよく、専業農家はますます減少、耕地も急速に減ってきています。

そこで市では、これに対処するため、農村地域を四つの事業区に分け、土地改良、農業構造改善事業を中心に、農業基盤を確立する積極策を講じていくことにしています。

芳賀、桂宮北部、南橋東北、荒砥地区は、養蚕を中心に水稲畜産の振興区域とします。上川淵、下川淵南部、上北、永明、木瀬地区は、水稲を中心に園芸畜産をすすめます。このほか市街地近接の周辺には園芸などを積極的にすすめる、土地集約的な経営方式で単位当たりの生産高をためていきます。

さらに山林地帯は放牧場として和牛、乳牛の生産地をつくります。乳牛育成牧場や種雄牛センターの誘致、二百六十ヘクタールの草地造成も行なわれることになっています。

●商店街を再開発—流通機構を近代化する

首都圏内の地方中心都市として、とくに県下全域に商業勢力圏をひろげている本市の商業は商店街の再開発、流通機構の近代化によって、さらに売上げを伸ばしていくことが予想されます。協業デパート、スーパーなど協業店舗の造成、業種別、地域別の販売などの共同事業がすすめられます。

これと並んで、大型店の進出の機会も多くなりますが、デパート、衣料品スーパー、食品スーパー、月賦ストアなど、やや飽和状態になることが予想され、相互に個性的なものが要求されてくるでしょう。中小商店では、経営革新の問題や購買力をじゅうぶん生かしていない点など改善がはかられます。

こうして、買い物はもろろん、散策に娯楽に、群馬県のショッピングセンターの中心が、ここに形づくられるでしょう。オシャレな買い物はこちら、おそろいはいちちと、同一地区に

開をひろげます。新規事業として、広瀬団地に定員百二十人の公立保育所を新設するほか、新設の民間保育所に対し建設費を助成、一部市立保育所の定員増、老朽市立保育所の一か所を改築します。

母子対策では、市単独で四十六年度から制度化した交通・労災事故による遺児に対する災害遺児手当の支給、在宅重度障害児手当の継続支給のほか、新規に災害遺児援助基金を創設、この基金の運用益金で災害遺児の小学校入学祝金一人五千円を贈呈します。

このほか、①ねたきり老人の入浴をお世話する事業は、県で取り上げましたので、競合を避けました。②重度身障者等の医療費支給事業は、予算編成時の段階では県の動向が明らかでありませんでした。一時保留とし、じゅうぶん検討を加える必要があり、当初予算を一応見送り、補正予算で措置することにしました。

主な予算計上額は次のとおりです。

●社会福祉費六億七、八九六万円

▽戦没者慰霊行事委託一七八万円

▽長期入院患者、原爆被災者慰問行事委託一三六万円

▽市社会福祉協議会補助金 七五八万円

▽前橋保健司会補助 六〇万円

▽精神薄弱者授産施設創設事業の補助(新規) 六五〇万円

▽心身障害児母子通園教室創設事業の補助(新規) 五〇〇万円

▽世帯更生運動調査の委託料 二五〇万円

▽民生委員協議会補助 五二万円

▽婦人保護事業 六二万円

▽盲ろう学校就学児童生徒に対する補助 八四万円

▽群馬県心身障害者扶養共済制度へ 三五五万円

▽近年難病対策事業(対象者九十五人、前年から)二二八万円

▽身体障害者援護施設委託事業 一、一〇九万円

▽身体障害者家庭奉仕員派遣事業 一三〇万円

▽精神薄弱者援護施設等への委託事業 三、三三九万円

▽心身障害児家庭奉仕員派遣事業 一三〇万円

▽敬老の日行事委託料三六三万円

▽老人福祉センター委託料 七八〇万円

▽ねたきり老人対象のふとん乾燥サービス事業委託料 四八八万円

▽老人クラブ育成補助四八八万円

▽市民敬老号へ補助 二〇〇万円

▽ひとり暮らし老人保養 八八万円

▽群馬厚生会運営補助二二三万円

▽敬老年金贈与 二、二八七万円

▽ねたきり老人見舞金一八〇万円

▽老人医療費補助(65歳以上のねたきり老人・70歳以上は全部) 三億三、七〇〇万円

▽老人健康診査事業 六二九万円

▽老人性白内障手術費二二六万円

▽老人保護措置委託事業 七、七五八万円

▽老人家庭奉仕員派遣事業 五二一万円

▽国民健康保険特別会計へ繰出金 四、五〇〇万円

●児童福祉費八億〇、一三八万円

▽在宅重度心身障害児通園教室の委託料 二五〇万円

委託料(二か所) 四八八万円

▽認可民間保育所運営調整費交付金 一、〇四三万円

▽時間外保育の助成金二四四万円

▽民間保育所施設整備費補助金 四五六万円

▽災害遺児入学金(小中学校入学祝一八五千人) 三二四万円

▽児童手当支給事業(国) 一億四、四〇〇万円

▽災害遺児手当支給 一五〇万円

▽在宅重度障害児手当支給事業 一三三万円

▽助産施設・母子寮・保育所委託事業 一億六、四四二万円

▽乳児医療費補助五、五八七万円

ことし1月から

ゴミ週2回どり実現 ―伝染病対策にも努力―

衛生費 五億九、二三三万円

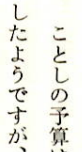
「市民の生活環境をよくする」ための重要部門を占める衛生費は、前年比一三・三パーセント、一億四千九百万円が増額されました。

まず、公衆衛生対策として伝染病予防事業に四千九百万円、結核予防、栄養改善、家族計画の普及や衛生保護、精神衛生、口腔衛生対策がすすめられます。また、ことしから新たに母子保健推進活動として「不幸な子どもを生まない運動」がすすめられます。

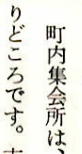
さらに環境衛生対策の推進にあたっては、下水道の普及が極めて大きな要素を占めます。これは下水道特別会計に記してあります。本年度は八〇ヘクタールを施行、計画事業一、〇七三ヘクタールに対し、排水面積は七九九ヘクタールを、(39歳・卸業)

公民館と公園を

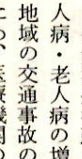
駒形町 小此木 とし子



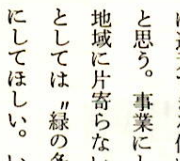
川浦 賢二



川原町 大山勝夫



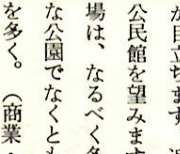
小此木 とし子



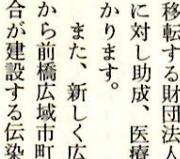
公平に還元
千代田町四丁目 川浦 賢二



川原町 大山勝夫



小此木 とし子



小此木 とし子

市予算は、なるべく公平に市民に還元できる使い方がされべきだと思ふ。事業にしろ、施設にしろ地域に片寄らないように。希望としては「緑の多いまちづくり」にしてほしい。いこいの場所とし

ことしの予算は民生費を重点にしたようだが、教育・民生は人間にとって、最もたいせつなものである。市民の遊び場は、なるべく多く、それと並行して、民間保育所の育成に補助金を多く。(商業・41歳)

町内集会所は、町の人たちの寄りどころです。市内にも古いものが目立ちます。近代設備の整った公民館を望みます。子どもの遊び場は、なるべく多く、それと並行して、民間保育所の育成に補助金を多く。(商業・41歳)

墓地を望む市民のために、亀泉霊園に墓碑つき墓地五十基をつくるほか、新墓地五十区画を造成します。

- 主な予算額は次のとおりです。
- 保健費 五、八二九万円
 - ▽各種検診委託料 一九七万円
 - ▽群馬県衛生センター建設事業補助金 三〇〇万円
 - ▽前橋市医師会事業補助金 二〇〇万円
 - ▽母子健康推進活動事業二二万円
 - ▽結核予防事業 一、三五六万円
 - ▽予防接種事業 二、〇二〇万円
 - 衛生費 一億三、五二〇万円
 - ▽霊園管理事業 二七八万円
 - ▽伝染病予防事業四、一八九万円
 - ▽前橋広域市町村圏振興組合・伝染病棟建設負担四、〇三四万円
 - ▽ねずみ・害虫駆除 四五六万円
 - ▽畜場管理事業 二、九一三万円
 - ▽霊園拡張整備事業 三、一〇〇万円
 - ▽墓碑付墓地等建設費(百基) 一、〇三〇万円
 - 清掃費 三億九、八八四万円
 - ▽前橋広域市町村圏振興整備組合ごみ処理施設建設費負担金 二、一四四万円
 - ▽前橋市保健衛生地区組織連合会補助金 四〇〇万円
 - ▽ごみ収集民間委託料 四、七五二万円
 - ▽きり物収集民間委託料 二、三七六万円
 - ▽ごみ収集運搬事業(収集車九台買い替え含む) 九、六八〇万円
 - ▽ごみ焼却事業(亀泉工場の固定炉煙突改築) 七八六万円
 - ▽ごみ焼却事業(六供工場の焼却炉補修・点検工事など) 三、七三三万円
 - ▽粗大ごみ処理事業 二、二二二万円
 - ▽し尿処理事業 二、八四五万円

前橋のビジョン

ブロック別の商店が並び、ショッピングを楽しむ時代となるでしょう。マイカーでの買い物ができるように、コンビニエンスシステムをもつ大型駐車場も計画されています。

●問屋センター生鮮食料品センターつくる
流通機構の近代化のため、利根川西の産業道路わきに、市内各問屋の協業による問屋センターがつけられます。さらに、東部地域には、青果・魚介類などの市場を統合して、生鮮食料品総合市場がつくられます。それぞれ市内の交通の混雑、駐車問題、価格の差などを配慮した抜本的な対策のひとつとして、早期に建設されます。すでに、この二つの施設は前半の五年間に完成されました。

●工業団地二〇四ヘクタールに
このビジョンのなかでは、工業団地は約二百四十ヘクタール、現在の約一・七倍に、誘致企業も三百三十社、二・六倍を予定し、機械金属、木工家具、繊維工業の充実をはかります。とくに電気、輸送用器具を含む機械金属工業が基幹産業となるでしょう。また、従業員十人以上の企業のため、小規模の工業団地を造成、協業化をはかります。

●勤労青少年ホームもつくります
市内に働く若い従業員の余暇活動のための施設として、勤労青少年ホームを建設するとともに、一方工業製品の競技会、展示会、見本市等を行なう常設施設として工業振興会館を建設します。この施設は工業製品展示場を中心に商談室、事務室、ホール等を設け工業振興の重要な役目を果たします。



大友町に完成した勤労青少年ホーム

伝染病予防接種―すべて無料に

法定伝染病の患者数は、年々低下していますが、素人は許されません。とくに赤痢は、抗生物質の普及で死亡率は低くなっていますが、耐性菌の出現で、集団発生の危険も多くなっています。伝染病予防接種は、接種率アップをはかると同時に、接種料は無料とします。

●結核予防に努力―早期治療発見を
結核死亡者は減少していますが、要治療者は、まだまだ少なく早期発見、早期治療を二の柱として、検診の徹底、BCG・ツベルクリンの接種率アップをはかっています。

●母子保健を徹底―乳児検診、妊婦検診、離乳食指導、母子健康相談、助産指導をさらに充実させていきます。
●成人病対策をすすめる―わが国の死亡率の第一位は脳卒中、二位はがん、三位は心臓病です。いずれも早期発見と早期治療が大切です。このため血圧測定、胃腸病検診、がん検診などの徹底をはかるとともに、がんセンターを計画します。
●救急医療センター整備―人口増に伴い、成人病、精神、産業災害、交通事故の増加が予測されます。これに対処するため、救急医療センターの整備、市立保健所の新設が検討されます。

13校を増改築

児童会館建設・市立図書館
少年自然の家・臨海学校つくる

教育費28億9,496万円



市のビジョンの四本の柱のひとつである「健全な人づくり」つまり、文教の振興対策は、予算編成上から、つねに重点事業として考慮されています。

まず、学校施設の充実事業としては、本年度は東小、若宮小、大根小、広瀬小、桃井小、城東小、永明小、中央小、荒牧小、敷島小と、小学校十校を増・改築いたします。さらに、中学校では東中、南橋中、荒砥中の三校を増・改築します。

さらに、小学校二校に体育館、プールを一校に新設、西部地域の生徒急増に対処するため、西部小学校(仮称)を新しくつくるための用地を確保します。これら、学校施設建設のために約九億六千六百万円が使われます。

- ▽学校給食の充実のため、数年来共同調理場を建設してきたが新たに北部地域にこれを新設するための建設用地を求めます。
- ▽青少年に健全な遊びの場を与えるため、児童館を建設する計画ですが、適地を選びこの建設用地を取得します。さらに、新規に教育資料館も建設します。
- ▽社会教育施設の整備では中央公民館の補修工事を行います。また、市立日本一をめざす市立図書館の新築工事を継続事業として完成させます。
- ▽社会体育を振興させるため、広域圏振興整備事業の一環として、「少年自然の家」を赤城山に建設新湯方面に「臨海学校」をつくる計画です。さらに各種スポーツを振興するため、市内スポーツ団体に對する事業費の助成をします。主な予算額は次のとおりです。
- 教育総務費三億〇、九二〇万円
- ▽私立幼稚園運営費補助金 六六〇万円
- ▽奨学金貸付事業 五三二万円
- ▽教職員研修 一四〇万円
- ▽北部共同調理場建設用地等 一、六〇〇万円
- ▽教育資料館建設二、五〇〇万円
- 小学校費一億二、四六五万円
- ▽小学校運営 七、三七二万円
- ▽特殊教育指導事業 一三三万円
- ▽学校施設保全事業(学校無人化の推進と保全) 四六〇万円
- ▽小学校施設管理四、一四四万円
- ▽変電室設置・保守 一三三万円
- ▽学校図書館充実事業 八四四万円
- ▽就学援助事業 九八一万円
- ▽校舎設備充実四、〇四〇万円
- ▽東小学校増築事業 九七四万円
- ▽若宮小改築事業五、七三〇万円
- ▽大根小改築事業四、〇四四万円
- ▽桃井小改築事業四、五五七万円
- ▽城東小改築事業六、七七二万円
- ▽永明小改築事業七、三八七万円
- ▽中央小改築事業七、四四七万円
- ▽荒牧小改築事業 一億六、一七〇万円

- ▽西部小(仮称)建設用地取得事業 一億八、〇〇〇万円
- 中学校費 三億〇、九二七万円
- ▽中学校運営 三、三五〇万円
- ▽中学校施設保全事業(学校無人化の推進と保全) 一七二万円
- ▽中学校施設管理二、五七九万円
- ▽学校図書館充実 三七七万円
- ▽就学援助事業 八九六万円



明るい教室で学ぶ子どもたち。(桃瀬小学校4年生の教室で)

- 養護学校費 八四六万円
- ▽養護学校運営 三二二万円
- ▽校舎設備充実事業 八八万円
- ▽心身障害児訪問指導 三万円
- 女子高校費一億五、三二二万円
- ▽高等学校運営 三二二万円
- ▽管理運営費 六二九万円
- ▽教具、備品充実 二六八万円
- ▽クラブ活動充実 二〇万円

- 幼稚園費 七、一一一万円
- ▽幼稚園運営 二八九万円
- ▽就園奨励事業(私立)八二四万円
- ▽幼稚園施設管理 二八二万円
- 社会教育費五億五、五三三万円
- ▽成人祝賀費 一三九万円
- ▽文化財保護・普及 二〇五万円
- ▽視聴覚ライブラリー事業 一五四万円
- ▽中央公民館補修一、〇〇〇万円
- ▽図書資料購入 七八五万円
- ▽荻原朝太郎生家土蔵移築事業 三五〇万円
- ▽児童文化センター運営 二三八万円
- ▽交通公園ゴーカート等運営 五九二万円
- ▽公民館用地取得事業八〇〇万円
- ▽市立図書館新築事業(第2年度) 三億二、一九一万円
- 体育費 一億〇、八〇〇万円
- ▽体育協会運営補助 二九〇万円
- ▽学校開放助成事業 一五五万円
- ▽臨海学校建設事業負担金(広域市町村圏事業)二、六〇〇万円
- ▽少年自然の家建設事業負担金(広域市町村圏事業) 四、九六九万円
- 青少年対策費 五、四〇九万円
- ▽地域活動振興事業 二〇一万円
- ▽少年活動促進事業 九〇万円
- ▽児童館建設事業三、五〇〇万円
- ▽補導活動 一六六万円
- 工業短期大学費 一七〇万円
- ▽校舎周囲植樹工事 四〇〇万円
- ▽製図室移設工事 八〇〇万円
- ▽トランシット等備品購入 八五〇万円

この予算による
わたしの
ひとこと

社会教育予算の増額を
西片貝町 前島 茂夫
社教予算が少ないですね。学校教育に比べ、やや軽視されている感じがする。わたしは、ある程度は、わたしだけでは、ないでしょう。本来これはクルマの両輪なので。予算不足で

活動ができない——という場面も見られます。青少年・子ども会育成は人づくりの基礎ですから、もっと力を入れてもらわないと……(販売業・47歳)

公共施設を市の南部にも
後閑町 志岐 めぐみ
市の施設は、前橋駅より北に多くかたまり、南に少ないように思われます。地域配分を考えると、ほしいわ。それから、住宅団地をつくる際には公共施設を付随して設置し、住みよい町づくりを。(主婦30歳)

校庭をひろくして
城東町四丁目 清水正一
交通事故からボクたちを守ってくださ。遊び場がないので、道路で遊ぶ子が多い。広場も、とあるといいな。ボクの通っている二つのそばは、道もせまくとも危険。校庭もせまく、運動も思うようにできない。予算がないとか、あるとか、おとなの人は、うけれど、ボクたちの希望も聞いてもらいたいな。(中学生13歳)

前橋のビジョン

市民環境よくする

●上水道は第3次拡張事業の実現

市民生活の向上、産業の発展により、水の需要は増し、昭和五十二年には十一万立方メートルが必要と予測されます。現在のままでは、三万立方メートルが不足します。このため、敷島水源、野中水源の改善と、上水水源の新設をします。このほか、総社、清里、芳賀水源の整備、老朽管の改善新設を積極的にします。また、城南地区への一日も早い完全給水を果たします。

●下水道を促進—水洗化を積極的に

下水道は「見えない道路」といわれているほど大切ですが、なかなか立ち遅れているのが現状です。その大きな原因は、多額の経費がかかることですが、四十二年度から受益者負担制度をとり入れ、急テンポで事業をすすめています。下水道建設



下水道管布設工事は市内各所で進められています。(岩神町で)

区域も、新都市計画法で線引きされる市街化区域の全域にまで及び、中川・天川・大手・岩神の各ポンプ場も、四十八年度までに完成させます。

●ゴミ収集週2回どりに—六供清掃工場建設

ご家族の主婦のみなさんが顔を悩ますゴミ。この収集は、ビジョン策定の現在週一回どりで、一日百三十トンが集められ、焼却処理しています。このゴミが五十二年には一日四百五十トンに増える予想されます。このため、六供町に新しいゴミ焼却施設を建設、近い将来には週二回どりを可能にする計画です。—清掃工場は四十七年に完成、四十八年一月からゴミは週二回どりが実現しています。

●火葬場を一新—市営斎場をつくりま

現在の火葬場は敷地が狭く、火葬炉もわずか三基で、しかも老朽化しています。そこで、この敷地をグンと広げ、広く明るい庭園の中に火葬炉十基を備えた近代的な火葬場と合わせた総合的な「市民斎場」をつくりまします。この施設も、すでに四十七年四月に完成オープンしています。

社会保障の充実をはかる

●国民年金をすすめる

「国民年金」の建て前から生まれたこの制度は、国の委任

特別会計予算

国民健康保険／食肉処理場／競輪／中小企業合理化資金／用品調達会計

医療費は18億円に

国民健康保険十九億七、一九三万円



現在、本市の被保険者世帯数は二万七千五百世帯、被保険者数は八万八千人となっています。

本年度の予算総額は十九億七千九百九十三万円で、前年に比較して四億二千七百三十三万円の増となりました。

国保事業は、年々増加する医療費にスライドして、保険税の増加も、保険制度の建て前からやむを得ないものです。しかし、市では被保険者の負担をできるだけ軽減する意味から、財源確保には鋭意努力しています。

本年度の国保会計の歳入は、みなさんから納めていただく国保税が八億四千九百九十一万円、国からの支出金が十億七千九百九十九万円で最も多く、一般会計からの繰入金で四億五千五百万円、諸収入が八百四十万円、繰越金五百万円、県からの支出金七十一万円の順となっています。

支出面では、医療費が十八億一千万円を超え予算総額の九三パーセントを占め最も多くなっています。この算出にあたっては、過去の実績や国の算出基準、医療費の

伸びなどを勘案し、さらに老人・乳児医療費の支給にもなる影響分を、自然増加分に加えて計上しました。前年より四億八百万円増となり、受診率は一人が一年間に六回弱医師にかかり、その費用は二万九千七百三十二円、世帯当り九万五千六百八十二円という平均額が推定されます。主な予算額は次のとおりです。

- ▽保険税徴収費 一、一四七万円
- ▽納税奨励費 一、八三二万円
- ▽国保運営協議会関係 九二万円
- ▽療養給付費（一般診療費）一七億八、六九三万円
- ▽療養費（柔道整復術・療養費）三、二〇九万円
- ▽審査支払手数料 二、四九四万円
- ▽助産費支給 一、五〇四万円
- ▽葬祭費支給 三二四万円
- ▽保健婦事業 二、二二七万円
- ▽保健衛生普及費 二二万円

豚・牛など
8万6,000頭を処理
処理場施設整備はかる

食肉処理場会計2,134万円

市営食肉処理場の内部



最近の畜産振興にともなう、処理場の利用度も増加の傾向にあります。本年度は、豚八万四千四百頭、牛（横）九百六十頭、牛六百五十頭、山羊六百六十頭の処理を見込んでいます。

この処理手数料が一千七百五十万円、冷蔵車使用料が三百四十九万円、合わせて二千一百四十九万円で、食肉処理場は建設以来十一年を経過、施設の整備と改善、周辺の環境整備、公害防止策などが急務とされます。これを本年度から年度計画で整備、充実していきます。

主な計上額は次のとおりです。

- ▽食肉処理場運営・管理事業 一、四九一万円
- ▽食肉処理場整備費 五〇一万円
- ▽機械器具整備工事 三〇三万円
- ▽給水施設新設工事 一九八万円

わたしの
ひまわり

老人に暖かい行政を
県外一泊旅行ぐらゐさせて！

平和町二丁目 山下 実

としよりや子ども
もの福祉重点の
予算とは遅れば
せながら喜ばし
いことです。ま



福祉を推進
城東町四丁目
若井 文子

老人問題と乳
幼児保育を中
心とした社会福祉にキメ細かい、
思いやりのある行政を望みます。



あ、一年に一度ぐらゐは、老人に
県外一泊旅行をさせてくれません
かね。補助金もたっぷり出して
らって。老人に希望が持てる政
治を望みますね。（無職69歳）



少年センター
がほしい
大手町三丁目
細野 雅由

映画がみられ
た、怪獣がいたり、いろんなお
もしろいものがある少年センター
がほしいな。（小学校一年・7歳）



福祉と教育に
岩神町一丁目
富田 健次

福祉の幅をひ
ろげて、より
多くの人たちが恩恵を受けられ
るよう。教育施設も、良くな
っているけれどまだまだですね。
町のみどりもスローガンに終らせ
たくない。二月の市議選の公約も
忘れられてしまわないようにねが
いたいですね。（会社役員・62歳）

前橋のビジョン

事務ですが、市民の老後保障のためにきわめて重要な役割りを果たします。適用者の完全な把握と行政指導を徹底させます。

●国民健康保険は市独自の給付率アップ

昭和四十三年一月から給付率の「オール七割給付」を実現したこと、加えて一般医療費の増加により、国保会計は、かなりむずかしい問題をふくんでいます。しかし健全財政を維持しながら、市独自の付加給付、任意給付の改善をはかっていきます。

●カギツコ対策や要たきり老人の対策も

カギツコ対策のひとつとして、家庭児童相談所を設けます。また老人のためには、敬老年金の増額と、寝たきり老人にはホームヘルパー（家庭奉仕員）が各家庭を訪れ、お世話と元気づけをし、六十五歳以上の人には、無料で健康診査をします。民間保育所の設置をすすめ、養護老人ホームも八十人収容のものを新しくつくります。

社会生活の向上のために

●消費者行政をすすめます

物価の値上り、誇大広告や有害食品の出現など、消費生活をめぐる問題が多くなっています。消費者の安全と利益を守るため、消費者講座や消費生活苦情相談窓口をひらき、消費者の自主活動を促進するとともに、消費者保護の強化をはかります。

●一年中泳げるー温水プールつくる



温水プールで真冬の水泳を楽しむ

市民みんなが楽しめるレクリエーション施設としての市民プールの拡充整備と室内温水プール兼体力トレーニング施設を新設します。さらに、屋内アイススケート場（夏期はプール）も計画しています。温水プール・トレーニングセンターは、四十八年一月実現しています。

●橋山展望公園を計画ー市街地に近い唯一の台地である橋山。ここに郷土資料、物産展示室、展望喫茶室を設け、つつじが原、芝山、梅園をふくめ「鑑賞と散策の場」とする計画です。

●子ども公園をつくりましますー交通公園も西片貝町東部バイパスわきに「交通公園」「児童文化センター」「森林公園」をふくめた、子どもたちが遊びながら学習し、また交通規則を学べる「子ども公園」をつくりまします。すでに昭和四十四年十月に完成、多くの子どもたちに利用されています。

●各種相談機関を充実させます

現在実施の市民相談・心配ごと相談・青少年相談・法律相談に加えて交通相談を新設・市民のみなさんの要望や悩みの解決をはかっていきます。

豆自動車を新しく 魅力ある楽しい遊園に

中央児童遊園二、五一五万円



子どもたちに健全な遊び場を与え、楽しく過ごせる場として維持管理をしていきます。本年度は特に豆自動車など遊具の一部を入れ替えます。

遊具使用料は、昭和二十九年の開園以来、一部を除いて据え置かれてきましたが、ことしから自動木

中央児童遊園は土曜日曜ともなると家族つれてたいへんにぎわいます。

馬が十円、普通利用券が一人一回二十円に改正されます。

本年度の遊具使用料収入は一千七百四十九万円、支出面では職員人件費を含めた管理運営費が二千四百八十五万円、施設整備費に二十万円を計上、魅力ある、楽しい遊園地にしていく計画です。

中小企業設備 合理化資金は 1,500万円

貸付額

中小企業を振興するため、各種合理化資金をお貸しする制度です。貸付金は設備または共同施設の設置にあたって必要とする金額の十分の五以上とされています。

本年度の貸付金は一千五百万円が当てられ、貸付のための管理運営費二十九万円、償還金利息・割引料五百八十五万円などが組み込まれ、総額二千四百九十七万円を計上しました。

中小企業合理化資金 二、四九七万円

用品一括購入で 経費節減はかる



市役所内の物品の購入、払い出し、支払い手続きの一本化によって経費を節減し、事務の簡素化をはかる趣旨のものです。これら用

用品調達会計
6億7,820万円

競輪収益

12億3千万円見込む

競輪会計 70億2,424万円

本年度の市営競輪は六回開催、入場者は一般・特別を合わせて延べ三十三万一千人が見込まれ、車券発売高は六十六億六千万円、競輪場貸付収入が三億円と推定されています。

これに対する歳出面では、勝者払戻返還金が四十九億五千五百万円、選手賞金、施設整備費、自転車振興会負担金などを差し引いた収益金は十二億三千八百万円で、これは一般会計へ繰り出され、中学校の建設、道路舗装、公園整備、図書館建設など、直接市民と関係する公共事業の財源として効率的な運用をはかりました。主な支出の内容は次のとおりです。

- ▽競輪管理運営費 三〇四万円
- ▽競輪開催費三億八、二七三万円
- ▽競輪場施設整備事業(駐車場舗装・第三スタンド補修・選手控室拡張・各所整備工事等) 三、〇四三万円
- ▽日本自転車振興会はか五団体への交付金 三億九、一九九万円
- ▽競輪勝者への払戻返還金 四九億五、五〇四万円
- ▽一般会計への繰入金(収益金) 一二億三、〇八〇万円

収益金は

学校建設・道路整備
公園維持・住宅建設
など、公共施設整備
に役立てられます。

わたしの ひとこと



市民が優先
岩神町一丁目
真下 房子
何といっても
市民優先が基本
です。それと市民の底辺から
幸せになるような予算を組んでも
ならないと……。いろいろありま
すけど、気軽に参加できる社会
教育行事をもっと考えて！
(主婦・42歳)



予算はハデな面
より地味な面に
日吉町四丁目
森 英夫
予算というも
のは、とかくハデな面に多く、ジ
ミな面に少なくという傾向があり
ますが、前橋はそれと違うことを
望みたいですね。福祉面は、とか
く今までは、ジミな面でしたから
。(自由業・63歳)



保育所の増設
公害対策も
平和町一丁目
大堀 種子
保育所が少なくない。共働きでな
い家庭でも一時的に預けられる、
そんなところがあつたらなあと思
う。緑をもっと多くする対策、遊
園地の増設、工場誘致にともなう
公害対策はどうなっているのだし
ょうか。(主婦・26歳)



下水道を早く
日吉町二丁目
池田美恵子
下水道は遅れて
いますね。もっと重点的に増額し
てほしいわ。大通りは良くなって
るけれど、狭い道路や側溝も整備
して、住みよい町に。ホームヘ
ルバーの増員もしてほしい。
(主婦・50歳)

前橋のビジョン

教育の振興のために

健康な人づくり推進



●小学校六校を新しくつくります

市内の小学校児童数は、今後人口増に比例して増え、とくに市街地周辺の開発で、いわゆる「ドーナツ化現象」を現わすものと思われまます。そこで、住宅団地の造成と合わせて校地を先行投資で確保、収容人員八百人、学級数十八校の小学校を、広瀬、大根の各住宅団地と、また市域の北部・東部・南部に建設します。

●小学校全校にプールと体育館をつくる

毎年三校ずつを目標に体育館をつくり、プールはすでに二十三校に完成、城南地区四校は上水道計画とあわせてつくります。

●校舎の鉄筋化をすすめる―危険校舎なくす

小学校の危険校舎の改築を積極的にし、鉄筋コンクリート三階建てを原則にすすめます。中学校は十四校のうち鉄筋校は五校、一部鉄筋化率は四十八パーセントで、全国類似都市のなかでは最高です。しかし残る木造校舎のほとんどが終戦直後の資材不足当時の建設のため、老朽化しています。これを鉄筋コンクリート四階建てを原則に、百パーセント鉄筋化としてすすめています。

●中学校にもプールを

中学校の体育館が、まだできていないところは早急に建設、プールは東、西、南、北の四つのブロックに各一校ずつつくります。

●特殊教育施設を整備します

市立養護学校を八教室増設、講堂や屋内運動場を新しくつくり、桃井小、若宮小に言語指導教室をひらきます。

●前橋大学の誕生を―市立短大の整備

三十万都市にふさわしい多くの人材を養成するため、現在の市立工業短大をさらに拡充して、土木工学、建築、機械工学の理工系四年制大学への昇格と、女子短期大学の併設をはかることに努力します。この時点では、県立への移管をすすめることになるでしょう。

●幼稚園を増設します



円型遊技室の見える若宮幼稚園で
元気に遊ぶ園児たち。

このビジョンの最終年、つまり昭和五十二年ごろの幼稚園への収容能力不足は五千六百人と予測されます。このうち、保育所へはいりこどもを除いた三千二百人を収容する施設が必要となります。このため、民間幼稚園十一(一施設は六学級程度)の建設の促進と地域的偏差を解消していきます。

公営企業会計

水道事業／下水道事業／農業共済事業

第4次拡張計画すすめる

きれいで豊かな水を安く市民に

水道事業会計 一二億七、九九三万円

水道事業は、現在「第四次拡張計画」が実施されています。この計画は昭和四十七年度から、五十一年度までの五か年間にわたり実施されるもので、総事業費二十五億円、市の殆んど全域を



敷島浄水場と配水塔。

水の費用)一億〇、六一八万円
▽配水・給水費(配水管の維持管理費) 九、五〇五万円
▽受託工事費(給水装置新設、改造工事費等) 一、九七五万円
▽量水器費(メーターの維持・管理の費用) 三、二七四万円

▽業務費(料金測定・集金業務の費用) 七、七八〇万円
▽総務費(業務運営の総括経費) 六、三二二万円
▽減価償却費 九、七八七万円
●営業外費用 九、一五七万円
●建設改良費六億五、一二七万円

▽拡張費 四億二、四五三万円
・水源施設 六、四三四万円
・浄水施設 一、一二五万円
・導水施設 六、二〇〇万円
・配水施設 一億二、六八五万円
・配水管施設一億一、五八九万円
・施設改良費一億〇、三三五万円
・都市計画関連工事 五、九四〇万円
・道路改修関連工事 八、〇〇〇万円
・配水管布設工事、〇〇〇万円
・消火栓新設工事 六、六〇〇万円
・その他施設改良一、九二五万円
▽固定資産購入費八、九三五万円
・量水器購入費 七、六五五万円
・土地購入費 七、〇五四万円
・機械車両購入費一、一六六万円
・企業債償還金 三、七四七万円

建設改良費に9億9千万円

下水管新設一万四千メートル

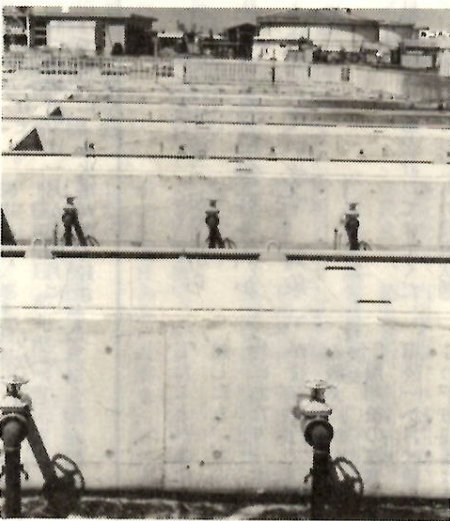
下水道は「見えない道路」といわれ、近代都市としては不可欠のものですが、なかなか立ち遅れているのが現状です。

その大きな原因は、きわめて多額の経費がかかることですが、市では四十三年度から「下水道受益者負担金制度」をとり入れ、この事業を重点のひとつとしてすすめています。

本年度は、当初予算としては最も大型の予算として建設改良費に九億九千万円を計上しました。

この事業費を含めて、昭和五十年までの三か年間に、現在計画している旧市域の下水道事業を、都市改造事業に併せて一部を除き完成させる予定です。さらに市街地が都市周辺部へ急速に拡大していく現状から、こうした区域への下水道計画の樹立も急がれます。

本年度の下水道使用料は、前年より一・八パーセント増の九千五百万円、水洗便所奨励工事は



増設された六供下水処理場

下水道事業 15億1,700万円

一千百件、九千三百五十万円が見込まれます。
支出の主な予算額は次のとおりです。
●営業費用 三億七、二六六万円
▽下水管理維持費三、七三〇万円
▽下水管新設六億八、二八一万円
▽下水処理場汚泥焼却炉・付属施設建設費 二億五、五〇〇万円
▽施設改良費等 七四九万円
▽企業債償還金 三、九七五万円

▽原価償却費一億一、三三〇万円
●営業外費用(支払利息・企業債取扱諸費) 一億一、二三二万円
●建設改良費九億九、〇七五万円
▽下水管新設六億八、二八一万円
▽下水処理場汚泥焼却炉・付属施設建設費 二億五、五〇〇万円
▽施設改良費等 七四九万円
▽企業債償還金 三、九七五万円

農業災害の

補償の充実をはかる

総共済金額は21億円に……

農業共済事業 二億七、五五八万円

農作物、畜産、家畜など、農業生産物に対する補償の充実と損害防止事業の強化を重点とします。

対象戸数は、農作物関係が一萬七千七百七十戸(水稲六千三百戸、陸稲七百七十戸、麦四千三百戸)で三六、八〇〇戸、畜産関係が一萬二千五百五十戸(春蚕三千四百五十戸、初秋蚕三千二百戸、晩秋蚕三千六百戸)で三萬四千箱、家畜関係が一萬四千四百四十戸(牛馬一千三百四十戸、種豚百戸)で六千五百頭となっています。さらに新規事業として、果樹共済のうち「梨」の共済を実施、百三十四戸三、七六〇戸が対象となります。

これに対する共済金額は二十一億一千六百四十万円、共済掛金は一億四千三百四十万円となります。共済掛金のうち国庫負担が七千四百十四万円、農家のみなさんからの負担が六千六百二十一万円となっています。なお、損害防止事業は七百二十二万円(農作物六十七万円、畜産二百八万円、家畜四百四十六万円)を計上、事業をすすめます。

予算の解説「24万市民の台所」を、十二ページにわたってお知らせいたしました。あなたのご意見・ご感想など、お気づきの点を秘書課秘書広報係までお寄せください。今後の参考としたいと思えます。

前橋のビジョン

●学校の設備、器材を改善していきます

市では昭和三十八年から市独自の教材等の設備基準を定め、校間格差、購入の近代化をはかってきています。現在、この設備基準の充足率は五十パーセントですがこれを七十パーセントまで引き上げます。こどもたちのからだに合った机、腰かけの整備、父兄私費負担の軽減等をふくめて年次的に改善します。

●教育内容を充実させます

施設の充実とともに、内容の向上が重要です。このため教育研究所、相談所、科学技術教育などを一元化した「教育センター」を計画しています。教師の質の向上とともに、こどもたちの学習にも役立てられます。

学校給食も共同調理場三か所を建設します。学校体育は室内体育館を完備し、健康管理を徹底させていきます。

●成人教育を充実させます

中央公民館を中心に、市民講座・家庭教育学級・成人学校・婦人学級をすすめて、さらに市民大学の講座をひろげます。音楽活動を総合化した市民の交響楽団の結成、市民展を発展させた芸術文化活動の発表の場としての芸術文化祭なども計画します。

●文化財の保護、史跡公園の建設もすすめる

埋蔵文化財、史跡などの調査と保護を完全にし、史跡公園の建設を促進します。

●市立図書館をつくります

現在の木造建から、開架式を大中にとり入れた近代的図書館にかえます。鉄筋地下一階地上三階、モダンな建物となります。常時三十万冊の蔵書を持ち、広範囲な活動を行います。これは、ことし一月着工し、明年完成します。

●社会体育を振興—体力づくりはかる

スポーツの振興は、単に愛好者だけでなく、市民全般にためめることが重要です。市民運動会、総合体育大会、市民体操祭各種目別のスポーツ教室などを積極的にすすめます。スポーツ団体、スポーツ選手の育成強化をはかります。また、体育施設の拡充整備をすすめます。こどもたちや社会教育団体に活用されている「市立赤城林間学校」の収容能力を現在の百人から二百人に拡充、隣接の林のなかに青少年のためのキャンプ場をつくりたい。

●青少年対策をひろめます

青少年をめぐる問題は多種多様で、社会の変化とともに新しい問題が生まれてきています。いづれもその根は深く、解決も困難なものをふくんでいます。地域ぐるみ、市民ぐるみの実践活動をふかめます。青少年団体の育成、家庭健全化、留守家庭の対策、非行化防止、相談・補導活動をすすめます。

市民サービスの向上をはかる

●窓口センター改善—明るく親切な窓口
市民の便宜をはかるため、窓口を改善、みなさんに親しめる便利な「窓口センター」をつくりたい。これは四十三年度九月、三千万円を完成させています。

●広報広聴部門を強化します

市政モニター制度、市民相談室の充実、広報活動の充実をふくめて市民との対話をふかめます。

●事務の効率化機械化をはかります

コンピュータの導入、カードシステム、住民管理センターの設置などによって、効率化をはかります。

あーんとお口あけて

春の小児まひ生ワク投与

4月9日から



ほら、こわくありませんよ。あーんとお口あけて……。

「予防接種法」によって、乳幼児は生後三か月から十八か月目の間に、小児まひ生ワクチンの投与を六か月の間隔で二回受けることに定められています。対象者はもれなくお受けください。

【対象者】生後三か月以上十八か月の乳幼児(四十六年十月一日から四十七年十二月三十一日までの出生者)で、前回までに生ワクチンの投与を二回受けていない人。生ワクチンは、六か月の間隔をおいて二回接種が完了です。

【注意すること】予防接種には思いがけない事故がおこることがあります。次の点をよく注意してください。①生ワクチン投与前に予防を行ないますから、保護者のかたは子どもの健康状態を詳しく医師に話してください。②当日は、

熱気や火の粉がもれた。③煙突にはカーテンなどの燃えやすいものが触れていない。④煙突の長さの不足や取付方が適当でなかったため、軒下に直接熱気が当たって火事になった。⑤煙突内にたまったすすや紙、かんなくずを燃した時に火の粉が飛び、付近の燃えやすい物に火がついた、などがおもな原因としてあげられます。

特に前橋市では一月から四月にかけて煙突による火事が多く起きています。そこで防火のポイント



①煙突の周囲は、木材などの可燃物から十五センチメートル以上はなす。②煙突の先端が欠けたり、ひびが入ったものは早目に修理する。③煙突掃除は定期的にする。④外部から見にくいところは、時々点検する。⑤煙突の取り付けは、図のように正しい方法で行なうなどがあげられます。

投与日程

4月9日(月) 上川淵公民館・下川淵公民館・永明公民館・駒形会館

4月10日(火) 東公民館・元総社公民館・総社公民館・清里公民館・母子健康センター

4月11日(水) 広瀬コミュニティセンター・天川小学校・城南小学校

4月12日(木) 中川小学校・岩神小学校・若宮小学校・桃井小学校

4月13日(金) 南橋公民館・桂菰公民館・芳賀公民館

4月20日(金) 桃井小学校(追加投与)。

○：時間はいずれも午後二時から二時五十分まで。追加投与(桃井小学校)については午後二時から三時五十分まで。

児童文化センターだより

月曜の午後・火曜・祝日は休館
電話(24局) 2548番



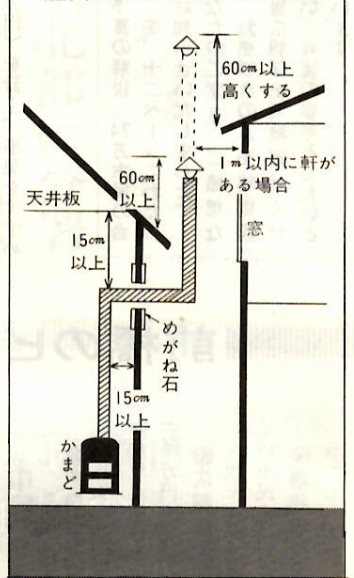
視聴覚室での学習

【特別展】市内小・中学校画展
品展 今年度も市内小・中学校児童生徒の画展作品を、月ごとに学校単位で展示します。四月は、嶺小学校、桃井小学校、第四中学校、桂菰小学校の作品を三階展示室と各階段パネルに展示します。期間は一日から末日までです。

【英会話教室】
「あなたも英会話を習いませんか」
①日常の英会話を正しく発音で楽しく学習しましょう。対象は、市内小学校五、六年生八十人。(以前にセンターの英会話教室で学習した児童は除きます)。学習日は、四月から九月まで、原則として、第一、第三土曜日の午後三時から四時三十分まで。

会場は、児童文化センター二階視聴覚室。申し込みは、四月十五日(日)午前九時から。事前にセンターで発行する所定の申込書に記入した印のうえ、直接センターに申し込んでください。定員になり

煙突の正しい取り付けかた



しだい締め切り

【自転車の安全な乗り方検定】
正しい交通のきまりや安全な乗り方をおぼえておそろしい交通事故からあなたを守りましょう

市営庭球コート 4月上旬 オープン



愛好会とは別に、庭球クラブでも新会員募集をしています。軟式は表町二丁目六十五、中島方、県軟式庭球連盟前橋支部事務局(電話21局四三三八)硬式は大手町三丁目六十五、宮沢方、前橋ローンテニスクラブ(電話31局三三七)へ申し込んでください。

愛好会加入者募集します

市民のみなさんの要望にこたえて、一日も早く使えるようにと、いま市営庭球コートを整備中です。四月上旬コートびらきの予定ですが、工事の進み具合をみて、コートの告知板に正確な開場日をお知らせします。

このコートの使用手続きは、市役所千代田町分室二階体育課(電話32局六五三九)で行なっています。希望者はお申し込みください。コート利用には、自由練習、占有利用、年間利用の三つがあり、いずれも所定の用紙で申し込んでいただくことになっています。

なお、年間を通じて利用される人は、愛好会へ入会ください。会費は一般が千円、高校生が五百円です。(中学生は対象となりません)高校生の申し込みは学校を通じて一括に。占有利用等は利用のつど一週間前にねがいます。

風の中頬を染めて……

自転車の正しい乗り方コンクール

総社小学校が優勝

四月六日から始まる春の全国交通安全運動にさきがけて十四日、前橋交通公園で「第二回自転車の正しい乗り方コンクール」が開かれました。

市の主催で開かれました。今回は新市域にある二十一の小学校から六十三人が参加して、風の中で頬を染めて乗り方の技術を競いました。コンクールは、信号の出し方など基礎的なものから急停車まできびしく審査され、次の五校が入賞しました。

優勝総社小学校、準優勝荒子小学校、第三位細井小学校、第四位永明小学校、第五位駒形小学校

ハカリの出張検査

5月1日～6月22日

ハカリの出張検査を、五月一日から六月二十二日まで行ないます。検査の対象となるハカリは①ひょう量(最大に計れる量)が五百キログラム以上のものとこれに相当の重量のハカリ②五百キログラムに満たないものでも、倉庫掛・鳥居型などの大型のもの③ひょう量の一万分の一以下、または五ミリグラム未満のこれに相当する質量を感じる天びんを使っている場合④特殊構造のハカリで運搬するに破損したり精度が落ちるとき⑤地中台ハカリ、ドラム掛など固定してあって取りはずしが困難⑥ハカリのひょう量に關係なく十台以上使っているときの電子式料金ハカリ(光電式)を使っている、などです。

検査手数料は、ハカリ検査料のほか、若干の人賃、旅費等がかかります。検査を希望する人は、四月十日までに市役所事業課計量係(電話31局四五二四)へご連絡ください。

前橋駅南口土地整理

審議会委員の改選

借地権申告は7日まで

前橋駅南口の土地整理審議会委員の任期満了による選挙を、五月二十三日に行ないます。この区域内に借地権をお持ちの人で、



普通奨学生募集

月額3,000円を66人に

市教育委員会では、昭和四十八年度「普通奨学生」を募集します。希望者は申請書を四月十日から二十日まで、学校長を通じて市教育委員会総務課へ提出してください。

昭和四十八年度国民健康保険税の一期、二期分(四月・六月納期)の納税通知書は、四月中旬に自治委員さんを通じてお送りします。納税期限内に納めてください。この税額は、四十八年度の正しい課税額が決定しないため、四十七年度の国民健康保険税額をもとに、仮にきめた税額です。なお、四十八年度の税額決定は八月になります。

国保納税通知書

一・二期分送付中

青少年健全育成ポスターと標語

池田・金井さんが特賞

青少年健全育成を目的としたポスター・標語の入賞者がまきまきしました。標語の部は一位池田泰子、二位石田葉子・国峰素子さん。ポスターの部は一位金井由紀子、二位塩野谷美名子・宇賀神哲也さんでした。

消防写真生会では

田中・北爪さんが金賞

子どもたちを通じて火災予防の普及を……と、三月十一日子ども公園で行なわれた消防写真生会には、たくさんのおよび子たちが集まり、金賞(市長賞)に城東小一年田中徳孝くん、同四年北爪和江さん、銀賞(消防長賞)に中川小二年田辺一彦、中央小五年秋山桂子さんがまきまきました。

学校リレー訪問

城南小学校

市街地の南、広々とした田畑が目の前に開け、背には赤城おろしをまともに受ける——そんなところに、私たちの「城南小学校」があります。

毎日の登校は、車の多く通る道を歩いてくると、友だちが多いので、近所の家一区をひとまわしにしました。五・六年生が班長となり、一年生から順に並んで登校します。

毎朝、せまい道路をおしあいへいあいして登校する生徒の顔は、それでも元気に明るく生き生きしています。そして、そんな顔を見ると「ああ、これから一日、一生けんめい勉強するんだな」と新しいフアイトがわいてきます。

学校の窓からは季節ごとに、とりどりの色に変わる自然ながめられます。そして、窓から表の若いみどりや黒い土の色に映えて、とても美しく見えます。

私たちがこの校舎にはいつから、まだ一年もたっていない。生徒のほとんどは、なつかしい古い校舎に別れを告げましたが、その古い雄大な校舎の姿は、今はなく、その姿を胸に刻みつけています。そしてすっかり荒れはてた空地だけが残っています。

新校舎は、美しくモダンな建物です。旧校舎とはちがったすてきな明るいムードがあります。校庭は、以前にくらべるとせまくなり、風が吹くと砂ぼこりが、もうもうとたちましたが、今ではスプ



城南小学校

リンクラーが取りつけられ、おさまっています。こんな設備のある校庭でみんな思い思いに、元気に運動をしています。毎週一回の朝礼のとき、全校千人以上の生徒がいっせいに校庭に並ぶと、ふだんは広いように思われた校庭が、うそのようにせまく感じられます。

さて、金曜日の第六校時、この時間は私たちのまじどしいクラブ活動があります。陸上、演劇、器楽、写真、手品……と二十のクラブ、四年生以上の全員が好きなクラブの場所へと急ぐため、ろうかは歩く人で混雑します。ほんの小さなありふれたエピソードかもしれませんが、そんなことがらが学校内になんとかなくごやかな風を吹きこむ——そのように思われます。

勉強勉強と追われず、自然にさからわないおらかさのようなものが、この学校の校風のように感じられます。

体育館は、十二月着工し、プールも工事に取っかかり三月に完成するそうです。二学期のおわりごろ、プロックペいのそばに数十本の若い樹木がずらりと植えられました。新しい校舎にないものは緑だといわれていますが、きっとその木々が見あげるような大木となつたときには、学校はもっととつと整備され生徒も進歩をたげていることでしょう。

城南小メモ

- 所在地六供町381
- 通学区城南町1～4丁目・46六供町・47六供町・文京町1丁目
- 校舎面積4,815平方メートル
- 校地面積14,880平方メートル
- 児童数1,046人
- 学級数26
- 教職員数34人。



あたたかいころ

□現金四百三十五円 広瀬小学校
二年二組有志のかたから。
□現金一万二千七百五十円 宗教
法人金光教前橋教会・信徒会から
□現金千円 三保町七四〇長谷川
信芳さんから交通遺児へ。
□現金五千円 昭和町三丁目十四
十鈴木敦子・鈴木和雄さんから
上毛愛隣社へ。
□現金百十円 南町三丁目二十三
十二野澤恵さんから。
□衣類二百点 住吉町二丁目一
十四江田栄一さんから。
□黄色い胸章三千七百枚 富士銀
行・安田火災海上・安田生命・安
田信託銀行から新入学児童へ。

ことし75歳になる人は

敬老 受給届けを

市では、七十五歳以上のおとし
よりに「敬老年金」を支給してい
ます。ことしあらたに該当する
人(明治三十一年生まれ)は、こ
の年金を受けられますから、受給
資格届けを四月三十日までに、市
厚生課へ提出してください。
届出用紙は、町内の自治委員さ
ん宅か市の厚生課に用意してあり
ます。詳しいことは、市厚生課庶
務係(電話24局一十一一内線三五
二)へおたずねください。

春の道路愛護運動

4月16日から
道路を愛護し、その保全と、正
しい交通を確保する―という目
的で、四月十六日から二十四日ま
で、群馬県下一円に「春の道路愛
護運動」がくりひろげられます。
道路にはみ出して物を置いたり
水をまいたり、破損したりしない
よう、みんなで道路を守りましょ
う。

お知らせコーナー



各種相談日

□母子健康相談

4月9日(月)=芳賀・桂萱・南
橋・永明各公民館。
4月12日(木)=南町4丁目公民館
4月13日(金)=東・元総社・清里
各公民館。広瀬団地第三集会所
4月20日(金)=総社公民館。
4月25日(水)=下川淵・中石倉・
朝倉団地各公民館。駒形会議所
○…時間は、いずれも午前10時か
ら午後3時まで。ただし南町4丁
目公民館は午前9時30分から正午
まで。家族計画相談も同時に行な
います。

□医師会育児相談 4月11日と25
日、群馬メディカルセンター3階
育児室で。乳児の健康診断、栄養
指導、保健指導などを行ないます
受付時間は午後1時30分から3時
30分まで。

□集団献血日

4月11日(水)=小屋原公民館が午
前10時から12時。城南支所が午
後1時から3時まで。

□保健所の健康相談

①乳幼児健康相談=第1・第2
金曜日の午前9時から11時まで。
第3金曜日は午前9時から11時、
午後1時から3時まで。
②一般健康相談=毎週月曜日の
午前9時から11時まで。
③療養相談=毎週水曜日の午前
9時から11時まで。
④電話による精神衛生相談=4
月7日・14日・20日・28日午前9時
から12時まで。担当医は前橋保健
所嘱託国友医師(電話31局7721)
です。

□心配ごと相談=4月6日・13日
20日・27日の各金曜日、午後1時
から4時まで。住吉町2丁目5-
21前橋母子福祉センターで。

□行政相談=11日・18日・25日の
4回、午後1時から5時まで、市
役所一階市民相談室で。

これだけはぜひ守ってください
ゴミを出すときのルール

町内の決められた場所に 収集日の朝8時までに

日増しに増えてくゴミ―皆と運って、ゴミの種類も多種多様となつています。これを完全に
処理していくことは、現在全国の都市がかかえている共通の悩みとなつています。
前橋のゴミ収集は、燃えるゴミがひと月から一週間に二回、燃えないゴミ・キケン物類は
現在一週間に一回の収集処理をしています。こうして集められるゴミの量は一日に百八十トン、
年間では五万五千トンにのぼります。このゴミは、亀泉町にある清掃工場と、新しくできた六供
清掃工場に運ばれ焼却され、また、燃えないゴミは埋め立て処理をしています。
ことし四月、荻窪町に「粗大ゴミ処理工場」が完成、キケン物の出し方が変わります。正しい
ルールによってゴミを出し、収集や処理がスムーズにいくようゴミやキケン物の完全処理ができ
きれいな町、清潔な町づくりができますようみなさんのご協力をいただきます。

基本ルール

ゴミを出すときは、町内の決め
られた場所に、収集日の当日、朝
八時までに出す―という原則を
守ってください。ゴミ集積場所
何日でも前から出されているのを見
かけますが、町の美観をそこね不
衛生です。また犬や猫などが袋を
破つてちらかり、風でとび散
つたりします。収集車が来る日の
朝、八時までに出す―というル
ールは必ず守ってください。

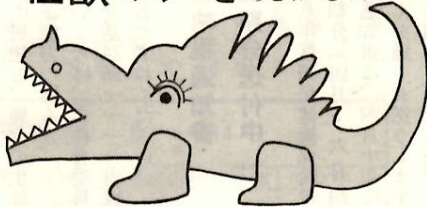
普通ゴミを出すときの
マナーは

①紙袋に入れ、片手でさげられ
る大きさ、重さにまとも、口をし
ばりましょう。ダンボール箱やビ
ニール袋に入れて出さないように
しましょう。②台所のゴミは水切
りをして、新聞紙などにくるみ、
紙袋に入れてください。

粗大ゴミ処理工場完成で

キケン物の出し
かたが変わる

荻窪町中入の松林にかこまれた
谷間に、四月に粗大ゴミ処理工場
が完成します。処理能力五時間六

荻窪埋立地に
ゴミ退治のエース
怪獣マンモ現わる!!

特長 身長8.40メートル
体重65トン
性質 おとなしく、動きはにぶい。
山間の谷間に住む。空ビン・空カ
好物 テレビ・冷ぞう庫。大食で1日に、
60トン食べる。
きらいなもの 紙・ダンボール箱などや
わらかいもの。これらを食
べると消化不良を起す。

〈粗大ゴミ処理工場〉

伝説とぞの付近

(95)

一本刀土俵入り

(駒形茂兵衛)

お蔭(つた)さん、この棒切れ
を振り回す茂兵衛、十年前、く
し、かんざし、きんちゃくぐるみ
意見ももった駒形のしがねえ姿
せめてあねさんに見てもらいてえ
茂兵衛の横綱の土俵入りでござん
す。
ご存じ長谷川伸作「一本刀土俵
入」の中で、駒形茂兵衛が最後に
いうせりふです。この駒形茂兵衛
が、実は市内駒形町の人だったと
伝えられています。

駒形町の十字路を南に折れます
と、まもなく広
瀬川があり、こ
こに駒形橋があ
ります。そのた
もとにある駒形
茂兵衛地蔵を訪
ねてみました。
由来記によりますと、
「茂左衛門と
もいわれ、駒形
上町に生まれた
浅間山大噴火
による大さきん
に加え、田沼失
政に強い訴えが
あいついだ世の
中でした。当地
にも一揆(いつ
き)が起り、茂兵衛はその首謀
者と目されついに処刑されてしま
いました。ときに天明七年のこと
でした。茂兵衛は、幼いときから
力士を志し江戸にのぼり苦行を
重ねた」といいます。



門の名があり、この墓も小屋原の
しやぶの中にあったものです。
またこんな話もあります。
「駒形茂兵衛、木瀬村駒形の人
同村東上野の生家とび出して、
江戸に出、立科磯右衛門の弟子と
なった。回向院角力(えこういん
さもう)として幕内三段目程度の
位置を占め、二見瀧音十郎と名の
つた。天明三年(一八三二)二月
十日門弟が建立した墓碑が大字東
上野にある。戒名(かいみょう)
勇達院角力道居士」(勢多郡誌
・木瀬村誌)

そこでこの墓
を訪ねながら、
同町の女屋丑之
助さんにお話を
伺ってみました
「生家は、東
上野十七番地
でしたが、わた
しどもの六代前
ごろの人です。
以前家の南に栗
林があり、ここ
を東山といいま
したが、この中
に土俵があつて
毎年江戸から
稽古相撲が来た
そうなんです。こ
の辺は相撲が盛んだったんだネ」
墓石は一・三メートルぐらいで
すが、横に二見瀧音十郎行年六十
七歳、霧海久造、二見瀧千兵衛と
門弟達が建てたようです。

この霧海久造という人は、久蔵
が正しく、音十郎の子で、やはり
力士だったといわれ、国定忠治と兄
弟だったといわれています。
一本刀土俵入りはフィクション
だといってしまうまでもありますが、
昭和六年、六世尾上菊五郎初
演のこのお話を、いつまでも残し
ておきたいものです。

【写真は、駒形町にある地蔵堂
と、その奥にあるのが茂兵衛の墓
といわれている】